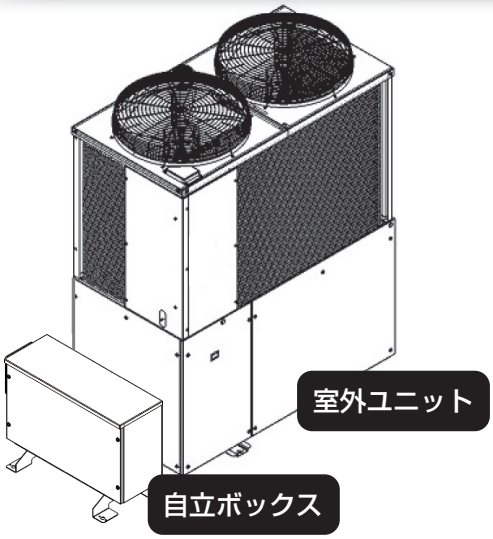
621471-20450-L

AISIN

HiPOWER+
電源自立型空調GHP ハイパワープラス

電源自立型空調ガスヒートポンプエアコン
自立運転操作説明書（停電時の使い方）



（注）自立ボックス設置のイメージ図

ご使用の前に
安全上のご注意について…… 2
各部の名前と働き…… 8
本製品の運転について……11

運転のしかた
自立運転のしかた
自立運転モード［空調＋発電］の場合……19
自立運転モード［発電のみ］の場合……23

お手入れについて
お手入れのしかた……27

知っておいてください
調子がおかしいときは……28
アフターサービスと保証について……36
製品の仕様…… 裏表紙
お客様ご相談窓口…… 裏表紙

映像でわかりやすくお伝えします（※）

■事前確認編 (P11)　■自立切替盤操作方法編 (P19)　■自立ユニット操作方法編 (P19)

※本動画のサービスは予告なく中止または内容や条件を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

自立運転時のご使用上の注意

- 本製品は「通常運転」と「自立運転」の二つの運転方法があります。
  停電時以外は、「通常運転」で運転してください。
- **本製品は、停電時に自動的に自立運転には切り替わりません。**
  停電時に正しく操作できるよう、必ず事前に本書で操作方法をご確認ください。
- 安全についての注意事項も記載しておりますので、必ず熟読の上、お守りください。
- 本製品は、停電時に空調および携帯電話の充電、テレビ、照明等に使用することを目的に設計・製造されています。また、本製品は自立運転時に停電が解消した場合、自動的に運転を停止します。
  生命や財産が損害を受けるおそれのある電気機器を接続しないでください。
- 燃料ガス種を変更する場合は、専門の資格と知識が必要です。詳しくはお買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

- 別冊の室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」と、室内ユニットに付属の「室内ユニットお手入れのしかた」と、リモコンに付属の「リモコン取扱説明書」とあわせてご覧いただき、この操作説明書とともにいつでも見ることができるところに大切に保管してください。
  また、お使いになる方が替わる場合は、これらのマニュアル類を全てお渡しください。
- 保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

※ GHP ハイパワープラスおよび HiPOWER+（ロゴ）は、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社の登録商標です。

安全上のご注意について

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を未然に防止するための安全上の注意事項です。
ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、下記の 2 種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取り扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		

⚠ 警告　使用上の注意事項

- **室外ユニットの排気ガスを室内に入れない**
  排気ガスが窓や空気吸込口などから入るとガス中毒のおそれがあります。
- **長時間冷（温）風を体に直接当てない、冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない**
  体調悪化・健康障害の原因になります。
- **吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない**
  ファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
- **室外ユニットの吸気口や排気口をふさがない**
  不完全燃焼による一酸化炭素の発生原因となり、ガス中毒のおそれがあります。
- **自分で分解や改造・修理・点検をしない**
  水もれ・感電・火災の原因になります。
  お買上げの販売店にご依頼ください。
- **調理用油や機械油など油成分が 浮遊している場所では使用しない**
  ひび割れ・感電・引火の原因になります。
- **調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない**
  火災や故障の原因になります。
- **可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない**
  ベンジン・シンナーで本体をふかない
  ひび割れ・感電・引火の原因になります。
- **自立発電出力を系統電源に接続しない**
  発火・火災の原因になります。
- **電源ブレーカーによる室内・室外ユニットの運転や停止をしない**
  火災や水もれの原因になります。
  また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、ケガの原因になります。
- **室内・室外ユニットの送風機が停止していても急に運転することがあるので、指や棒などを入れない**
  ケガの原因になります。
- **自立ボックス・自立ユニットの換気口をふさがない**
  発熱・発火のおそれがあります。
- **自立ボックス・自立ユニットの周辺で火気を使用しない**
  引火・爆発の原因になります。
- **自立発電コンセントに電気機器のプラグ以外差し込まない**
  発火・発煙・発熱・感電の原因になります。
- **自立発電コンセントはタコ足配線で使用しない**
  発火の原因になります。
- **ぬれた手で自立発電コンセントに電気機器のプラグを抜き差しをしない**
  感電の原因になります。
- **ぬれた手で自立切替盤・自立ユニット内部に触れない**
  感電の原因になります。
- **室外ユニットのカバー類を取り外さない**
  可動部によるケガの原因になります。

必ず守ってください

⚠ 警告　使用上の注意事項

● 生命や財産が損害を受けるおそれのある電気機器を接続しない



この製品は停電時に空調および携帯電話の充電、テレビ、照明等に使用することを目的に設計・製造されています。
本機器を下記のような高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないでください。
- 人命に関わる全ての医療機器やシステム
- 人身の安全に直接関連する用途に用いる機器
  （例：車両、エレベーターなど）
- 社会的に重大な損害を与える可能性のある用途に用いる機器
  （例：コンピューターシステムなど）
- 灯油やガスを用いた暖房機器
- 炊飯器、電子レンジ、冷蔵庫等、食品類を扱う機器
- 必要発電量の合計が発電定格出力値を超えるような機器の接続
- その他、電源が切れると生命や財産に損害を与える可能性のある機器
- 上記に準じる機器

● ストーブ等の周囲の安全を確認する必要のある電気機器は、自立発電が開始する前に電源を入れない



火災、火傷の原因になります。
自立発電を開始すると、電力が自動的に電気機器に供給されます。
必ず周囲の安全確認を行ってから、電気機器の電源を入れてください。

● 室外ユニットの燃料ガスもれに気づいたときはガスの元栓をしめ、至急販売店に連絡する



炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。処置が終わるまで絶対に火気を近づけないでください。

● 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する



異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

● 洪水・台風など天災で室内・室外ユニット、自立ボックス、自立ユニットが水没したときは、電源ブレーカーを遮断し、お買上げの販売店に相談する



運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

● 室内・室外ユニット・自立ボックス・自立ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する



誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

● 冷媒がもれた場合、火気の使用を中止し、部屋の換気をする



万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

● ヒューズ付負荷開閉器を使用する場合、正しい容量のヒューズを使用する



針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

● 自立運転する場合は運転する前に必ず、下記確認作業を実施する



- **エアコン本体の異常（冷媒もれ、燃料ガスもれ、異臭、異音）等がないことを確認**
- **自立切替盤の異常（異臭、異音）等がないことを確認**
- **自立ボックス・自立ユニットの異常（液もれ、異臭、異音）等がないことを確認**

発煙・発火・爆発のおそれがあります。

⚠ 注意　使用上の注意事項

●**特殊用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特殊用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。

●**長期使用で腐食・変形したままの据付架台などを使用しない**
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●**室外ユニット・自立ボックス・自立ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない**
落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。

●**室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない**
運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口のつまりで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。

●**室内ユニットの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

●**エアフィルターを確実に固定する**
吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下によりケガの原因になることがあります。

●**動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

●**室外ユニットの排気ガス、吹出風を動植物にあてない**
排気ガスや吹出風があたると、動植物に悪影響をおよぼすおそれがあります。

●**空気吹出口の 1 m 以内にスプレー缶などを置かない**
室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。

●**本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になります。

●**室内・室外ユニットの空気吸込口やアルミフィンにさわらない**
ケガの原因になることがあります。

●**リモコン線を引っ張らない**
芯線の一部が断線して、漏電の原因になることがあります。

●**室内ユニットの操作やお手入れのときは不安定な台に乗らない**
転倒などケガの原因になることがあります。

●**室外ユニットの排気口に触れない**
高温のため火傷するおそれがあります。

●**リモコンは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の原因になることがあります。内部の点検調整はお買上げの販売店にご依頼ください。

●**室内ユニットおよびリモコンの近くで湯沸器などの器具を使用しない**
蒸気を発生する器具を近くで使用すると、冷房運転時水滴が落ちたり、漏電・短絡の原因になることがあります。

●**室外ユニット・自立ボックス・自立切替盤・自立ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない**
小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

●**外部の充電器を使用して、自立ボックス・自立ユニット内のバッテリーを充電しない**
バッテリーの破損によりケガの原因になることがあります。

●**ぬれた手でリモコンを操作しない**
感電の原因になることがあります。

●**室内ユニットを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

●**室内ユニットの上に花びんなど、水の入った容器を置かない**
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

●**ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する**
電源を遮断しないと、感電やケガの原因になることがあります。機器の保護、性能維持のため、停止中であっても、自動で一時的にファン等が作動する場合があります。
室内ユニット・室外ユニットに触れる場合は必ず電源ブレーカーを遮断してください。

●**自立ボックス・自立ユニットから液体が流出していたり、室外ユニットからオイルや冷却水が流出しているときは、お買上げの販売店に連絡する**
機器の故障や、二次災害（家財の汚損等）につながることがあります。

据付に関する安全上のご注意についての詳細は、室内ユニット据付説明書・室外ユニット施工説明書の記載内容を遵守してください。

⚠ 警告　据付上の注意事項

- **据付工事は、自分でしない**
  据え付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
  お買上げの販売店にご依頼ください。
  
  禁止
- **別売品の取り付けは、自分でしない**
  別売品は当社指定以外のものは使用しない
  取り付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
  お買上げの販売店にご依頼ください。
  
  禁止
- **移動・再設置は、自分でしない**
  据え付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
  お買上げの販売店にご依頼ください。
  
  禁止
- **室外ユニットは室内に据え付けない**
  室外ユニットの排気ガスが室内に入るおそれのあるところへ据え付けない（※）
  室内への給排気口や窓・通気口の近くへ設置すると排気ガスが室内に流入し、中毒や酸欠などの原因になります。
  
  禁止
- **可燃性ガスの発生・流入・滞留・もれのおそれのある場所、揮発性引火物を取り扱うことのある場所に設置しない**
  引火による火災の原因になります。
  
  禁止
- **室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない**
  排気ガスが建物内に流入すると、中毒や酸欠などの原因になります。
  
  禁止
- **室外ユニット－自立ボックスまたは自立ユニット間の配線の長さを変更しない**
  配線の長さを変更すると、発熱・発煙・発火・故障・動作不良の原因になります。
  
  禁止
- **自立ボックスまたは自立ユニット－室外ユニット間のバッテリーケーブルは折り曲げたり、束ねて配線しない**
  発火・発熱・発煙の原因になります。
  
  禁止
- **室外ユニット・自立ボックス・自立ユニットは冠水などのおそれがある場所には設置しない**
  発火・発熱・発煙・漏電の原因になります。
  
  禁止

- **漏電遮断器を取り付ける（専門業者へ依頼する）**
  感電や火災の原因になります。
  
- **電源・回路は必ず室内・室外ユニット専用の電源を使用する**
  専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。
  
- **冷媒もれ対策は、販売店に相談する**
  万一冷媒がもれて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても限界濃度を超えないように対策する必要があります。
  
- **室外ユニット・自立ボックス・自立ユニットの重量に耐えられる安定した場所に設置する**
  強度が不足している場合は、室外ユニット・自立ボックス・自立ユニットの落下などにより、ケガや事故の原因になります。
  
- **排気ガスは周囲に悪影響を与えないところで、必ず大気開放とする**
  排気ます・溝などに排出すると室内に流入し、中毒や酸欠などの原因になります。
  
- **室外ユニットの排気ドレン配管は、排気ガスを大気に放出するよう施工する**
  排気ドレンには排気ガスが含まれています。室外ユニットの排気ドレン配管をふたのある排水ます・溝などに接続する場合や、室内ユニットのドレンと同一箇所に排水する場合は、大気に開放するようにしてください。
  排気ガスが室内に流入すると、中毒や酸欠などの原因になります。
  
- **電源自立型空調ガスヒートポンプエアコンには当社仕様（室外ユニット施工説明書記載・技術ガイドブック記載）の自立切替盤を取り付ける**
  感電・火災・故障・動作不良の原因になります。
  
- **バッテリーは当社別売品を使用する**
  バッテリーの破損により、バッテリー液が飛び散り、発火やケガの原因になります。
  
- **アース工事を行う**
  アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
  

※ 排気ガスが室内に入るおそれのある場所や、周囲に悪影響を与えてしまうような場所にしか据え付けできないときは、排気延長を検討してください。詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

⚠ 注意　据付上の注意事項

●**可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない**
万一、ガスがもれてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。


禁止

●**足場が不安定な場所へは設置しない**
足場が不安定な場所への設置は、作業者の落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。特に高所作業をするときは注意してください。


禁止

●**自立ボックス・自立ユニットは指定外の方向で設置しない**
バッテリーの液もれによる発熱・発煙・故障の原因になることがあります。


禁止

●**リモコンは、水のかかるおそれのある場所に設置しない**
水が機器の内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。


水ぬれ禁止

●**ドレン配管は、確実に排水するように施工する**
不備があると、屋内に水もれし、汚れや故障の原因になることがあります。



●**屋上設置の場合、室外ユニットの排気ドレンは、雑排出口等の適切な排水先まで延長する**
排気ドレンを直接排出するとコンクリートを汚したり、防水シートを破損する原因になることがあります。



お願い

●**室外ユニットの排気ドレン配管と凝縮水ドレン配管との共用はしないでください。**
排気ガスが室外ユニットに逆流し、故障の原因になることがあります。

据付場所について

●**まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？**

●**次のような場所では使用しないでください。**
- 切削油など鉱物油の飛沫や蒸気の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 可燃性ガスのもれるおそれのあるところ
- カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊するところ
- シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取り扱うところ
- 落ち葉が堆積するところや雑草が生い茂るところ
- 小動物のすみかになるようなところ

●**防雪対策されていますか？**
室外ユニットに防雪フード（別売品）をとりつけるなど、対策してください。
詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

●**降雪時、自立ボックス・自立ユニットが雪に埋まらないよう、除雪してください。**

電気工事について

●**電気工事・D 種接地工事の施工には資格が必要です。**
お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではしないでください。

●**室内・室外ユニット専用の回路をご使用ですか？**
専用以外の回路を使用すると、発熱・火災・故障などの原因になります。

運転音にもご配慮を

●**次のような場所を選んでいますか？**
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●**室外ユニットの排気口・吹出口近くに障害物がありませんか？**
機能低下や運転音増大の原因になります。

●**使用中に異常音がする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。**

ドレン配管の排水について

●**ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？**
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ･ホコリなどがつまり、室内ユニットから水がもれる原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

使用上のお願い事項

●**室外ユニットの吸気口や排気口･排気ドレン、自立ボックス･自立ユニットの換気口をふさがないでください。**
故障の原因になります。

●**室内ユニットの近くでほかの暖房器具を使わないでください。**
暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。

●**室内ユニットや室外ユニットの吹出口や吸込口をふさがないでください。**
機械に余分な負荷がかかり、能力低下や故障の原因になります。

●**ひんぱんに「運転」･「停止」を繰り返さないでください。**
1 時間に 4 ～ 5 回以上繰り返しを行うと圧縮機などの故障につながることがあります。

●**先のとがったものでリモコンのスイッチを押さないでください。**
破損や故障の原因になります。

●**点検時・お手入れ時以外、ブレーカーを OFF しないでください。**
長時間ブレーカーが OFF の状態が続くと、バッテリーの放電により、自立運転ができなくなるおそれがあります。

●**自立発電容量以上の電気機器を接続しないでください。**
本製品の保護装置が働き、接続された電気機器への電力の供給が止まりますので、接続する電気機器の選定にはご注意ください。

●**燃料ガス種を変更する場合は、専門の資格と知識が必要です。**
詳しくはお買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

●**自立ボックス・自立ユニット内のバッテリーは定期交換部品です。使用環境状況によっては交換周期が短くなることがあります。**
前回の交換から4年経過あるいは、リモコン表示部に「PH」（バッテリー交換）が表示された場合、お買上げの販売店もしくは、お客様ご相談窓口（裏表紙）にご連絡ください。

お知らせ

●**機器の使用温度範囲外（特に高外気温）でご使用になりますと、機器故障の原因になることや、保護回路が働き、運転しない場合があります。**

使用温度条件の目安

運転モード	室外温度	室内温度	室内湿度
冷　房	－10～43℃	18～32℃	80%以下
暖　房	－10～24℃	10～28℃	－

●**室外・室内ユニットは機器保護・性能維持のため一時的に停止あるいは空調の効きが悪くなる場合がありますが、自動的に元の状態に戻ります。（除霜運転等）この際、一時的にガス・電気の消費量が増える場合があります。**

●**自立運転時､抵抗負荷以外の電気機器（モーター等）を接続する場合は力率の影響で、発電定格出力がカタログ値より下回る場合があります。起動電力の大きな機器を接続する場合、突入電流（始動電流）の影響で過負荷停止する場合があります。**
（詳しくはお買上げ販売店にご相談ください）

●**自立運転時に空調動作させた場合の空調能力は、通常運転時より若干低下します。**
（運転条件によっては、冷えにくい、暖まりにくい場合があります）
なお、室内ユニットは全台温調運転もしくは停止となります。
詳しくは､「自立運転時の空調について」（14 ページ）を参照してください。

●**グループ制御について**
1 つのリモコンで室内ユニットを最大8台まで運転操作できます。
この場合、全ての室内ユニットは同じ設定になります。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

●**2 リモコン制御について**
2 つのリモコンで 1 台（グループ制御の場合は 1 グループ)の室内ユニットを運転操作できます。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

自立切替盤・自立ユニット内「自立運転点検スイッチ」に関する注意事項

●「自立運転点検スイッチ」は､本機に接続された電気機器を停止することなく､保守･点検を行うため操作するものです。
「自立運転点検スイッチ」の操作は、保守・点検担当者以外は、絶対に行わないでください。
誤って操作をすると、室外ユニットが突然動き出すおそれがあり、危険です。

●「自立運転点検スイッチ」を操作するための鍵は､お客様にて保管をお願いします。（保守･点検時に､担当者にお渡しください。保守・点検が終了しましたら、担当者より鍵を受け取り、お客様にて保管をお願いします）

● 万一、鍵（「自立運転点検スイッチ」用および、自立切替盤・自立ユニット扉用）を紛失した場合は、お手数ですがお近くの販売代理店にご連絡ください。

⚠ 警告

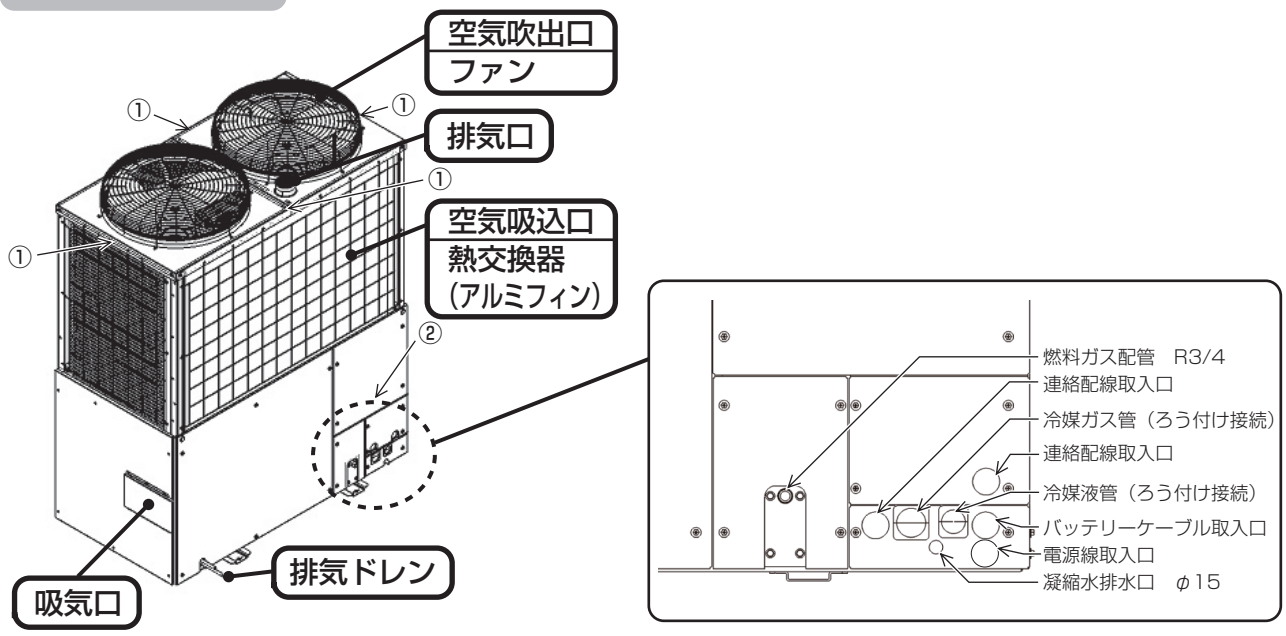
●**自立切替盤・自立ユニット内の「自立運転点検スイッチ」には触らない**
触ると、室外ユニットが突然動き出し、ケガの原因になります。


禁止

各部の名前と働き

●室内ユニット本体は室内ユニットに付属の「室内ユニットお手入れのしかた」を参照してください。
●リモコンは室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」もしくはリモコンに付属の「リモコン取扱説明書」を参照してください。
●停電時に備えて、室外ユニット・自立ボックス・自立切替盤・自立ユニット（別売品もしくは現地手配品）・自立運転スイッチ（別売品もしくは現地手配品）の設置場所をあらかじめご確認ください。

室外ユニット



■警告・注意ラベル①

⚠ 警告	吹出口に指や棒などを入れない。ファン回転部があり、ケガの恐れあり。
	ルーフの上に乗らない。　ルーフ破損、落下の恐れあり。
⚠ 注意	排気口に触れない。　高温のため、火傷の恐れあり。

■警告・注意ラベル②

⚠ 警　告

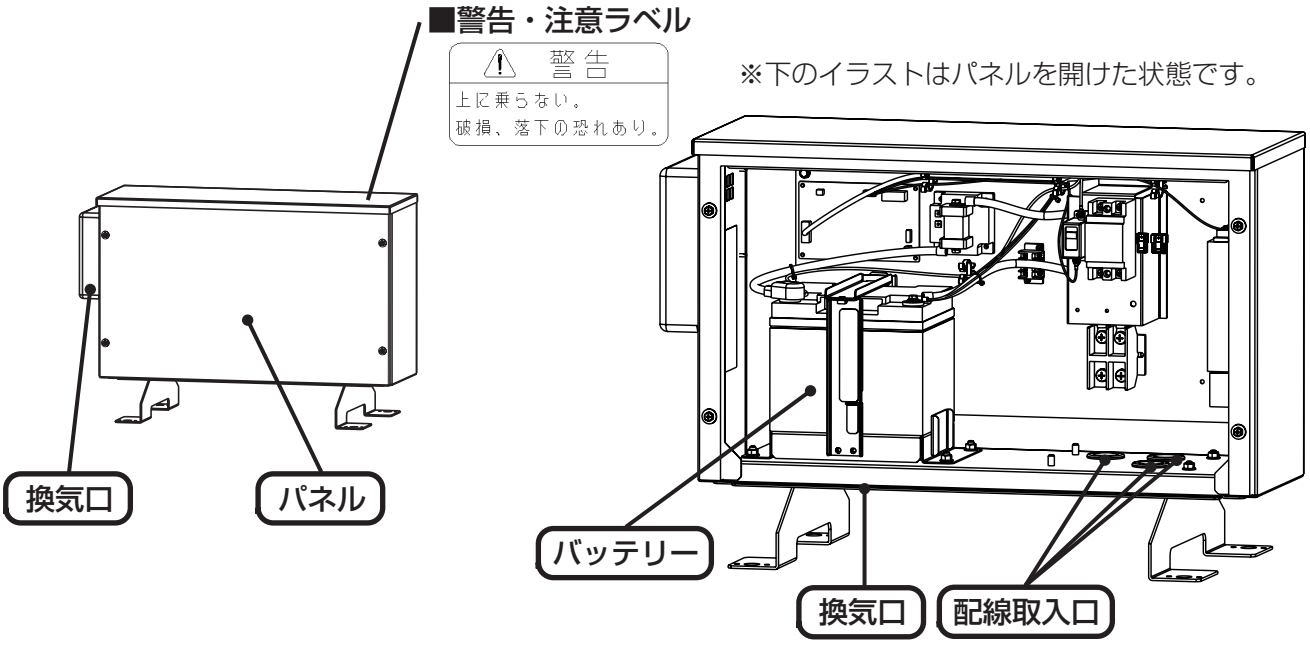
■排気ガスが室内に入り危険です。
・排気ドレンは室内ユニットドレン配管と一緒にしない
・排気ドレンは大気開放された場所へ排水する。
■排気ガスによる中毒の可能性があります。
・排気ガスは周囲に影響のないところで大気開放する。
■ガス漏れの恐れがあります。
・燃料ガス管接続には、指定の強化ガスホースを使用する。
■冷媒漏れによる機器の故障や室内での酸欠の恐れがあります。
・冷媒配管接続後、気密試験を行い漏れのないことを確認する。

⚠ 注　意

■排気ドレンがコンクリート表面を汚したり、シート防水を損傷する恐れがあります。
・排気ドレンは、雨水取入口又は、雨水桝まで配管して排水する。

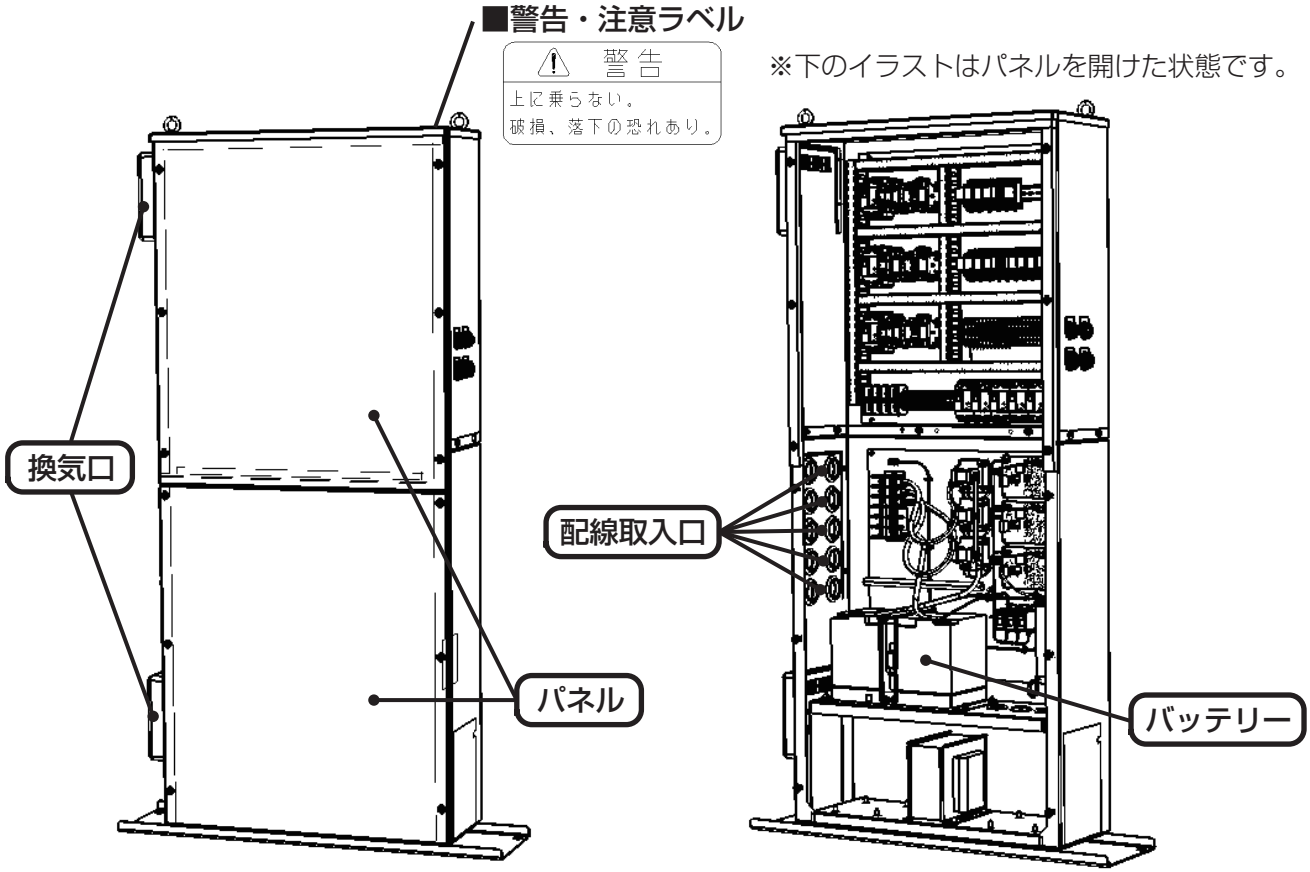
自立ボックス

●自立ボックスは停電時等に本製品を起動させるためのバッテリーを搭載しています。



自立ユニット

●自立ユニットは停電時等に本製品を起動させるためのバッテリーを搭載しています。

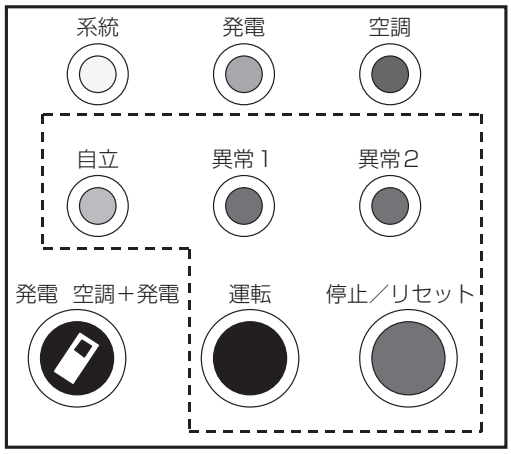


自立切替盤・自立運転スイッチ・自立ユニット側面スイッチ

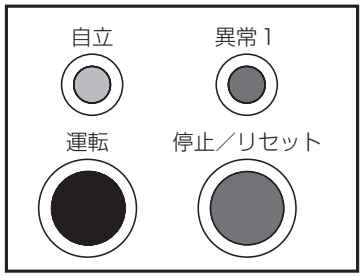
●自立切替盤・自立運転スイッチ・自立ユニット側面スイッチは自立運転の運転・停止の操作、運転状態を表示します。
●自立切替盤、自立運転スイッチ共に、別売品もしくは現地手配品です。
（自立運転スイッチはイラストの破線で囲われた部分の操作スイッチ・表示ランプが別体になったものです。）

※下のイラストは別売品の自立切替盤と自立ユニットの操作・表示部を示したものです。自立切替盤、自立運転スイッチを現地手配した場合、操作スイッチ・表示ランプの配置が下のイラストと異なる場合があります。

・自立切替盤スイッチ



・自立ユニット側面スイッチ

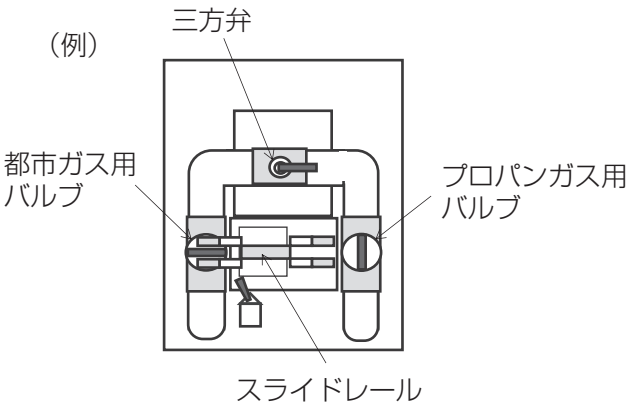


表示	色	名称	説明
系統	白	系統ランプ	商用電源受電時に点灯します※
発電	橙	発電ランプ	自立運転時、発電出力されている時に点灯します
空調	青	空調ランプ	室内ユニットに電気が通電されている時に点灯します
自立	緑	自立ランプ	自立運転時に点灯します（運転ボタンを押してから点灯までに数秒かかります）
異常１	赤	異常１ランプ	異常１が発生中に点灯します
異常２	赤	異常２ランプ	異常２が発生中に点灯します
発電⇔空調＋発電	－	モード選択スイッチ	自立運転モードの切替（空調の有無）を選択します
運転	黒	運転ボタン	自立運転を開始するとき押します
停止／リセット	赤	停止／リセットボタン	自立運転を停止するとき、異常をリセットする時に押します

※ 自立切替盤のメインブレーカーを ON にしないと点灯しません。

燃料切替ボックス

●燃料切替ボックスは、燃料切替ハーネスキットと組み合わせて使用することで、都市ガスが供給停止した場合に、プロパンガスボンベからの燃料供給に切り替えます。
※下のイラストは、現地手配品の燃料切替ボックスの操作部を示したものです。手配する部品により、配置が下のイラストと異なる場合があります。

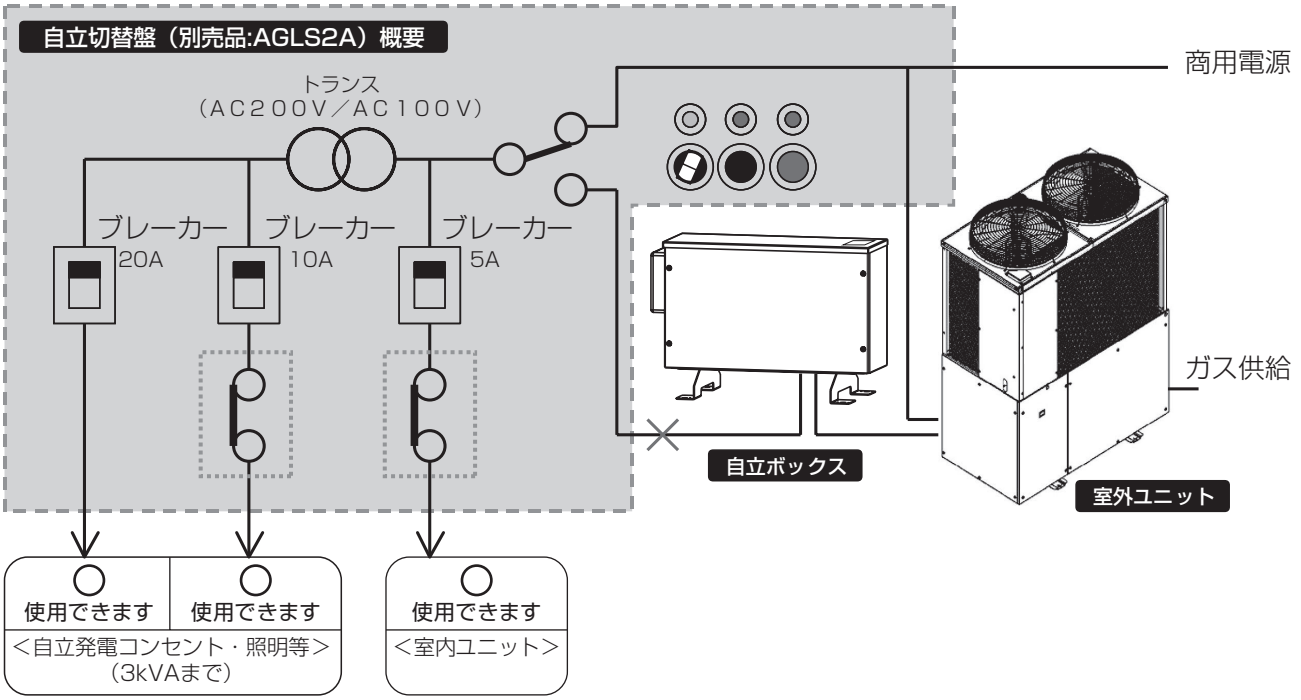


本製品の運転について

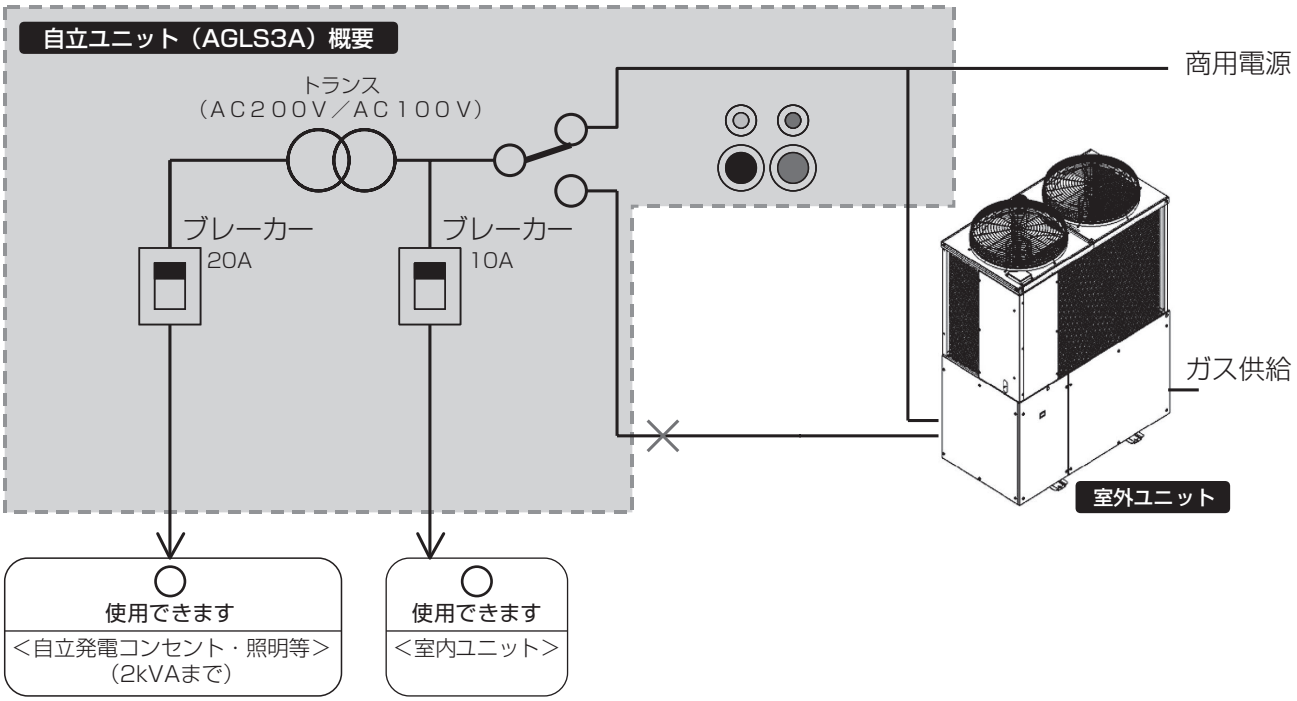
本製品は「通常運転」と「自立運転」の二つの運転方法があります。
「通常運転」では、商用電力（系統）を使って空調運転をします。
「自立運転」では､停電時等に本製品を自立ボックスまたは自立ユニットに内蔵のバッテリーで起動させ、運転をします。
「自立運転」には、空調と発電の両方で運転する「自立運転モード［空調＋発電］」と、発電のみで運転する「自立運転モード［発電のみ］（自立切替盤のみ）」の二つの運転モードがあります。

■通常運転

商用電力（系統）が通電されているときの運転方法です。冷暖房を行う空調（ガスヒートポンプエアコン：GHP）としてご利用いただけます。
室内ユニットおよび、自立発電コンセント（コンセントを介さず接続する電気機器も含む）には商用電力（系統）が供給されます。（当社別売品の自立切替盤（型式：AGLS2A）または自立ユニット（型式：AGLS3A）を使用した場合）※自立発電コンセント（コンセントを介さず接続する電気機器も含む）に接続する電気機器は総電力**自立切替盤：3kVA、自立ユニット：2kVA** までとしてください。
停電時等、商用電力（系統）が通電されていない場合を除き、通常運転で運転してください。



※自立発電コンセントはお客さまのご要望で設置するもので、自立発電コンセントを介さず、電気機器に接続する場合もあります。（例えば照明など）
※ブレーカー容量にあわせて接続負荷を選定してください。



※自立発電コンセントはお客さまのご要望で設置するもので、自立発電コンセントを介さず、電気機器に接続する場合もあります。（例えば照明など）
※ブレーカー容量にあわせて接続負荷を選定してください。

お知らせ

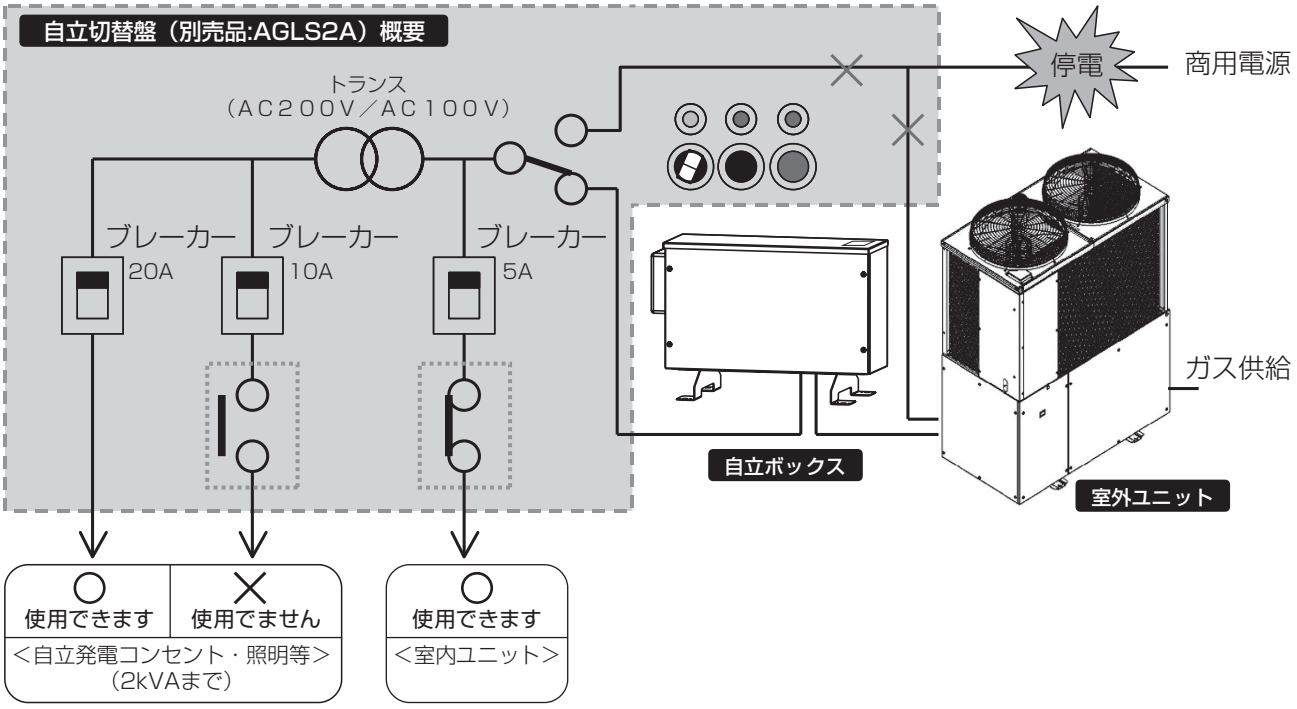
- **通常運転時は室内ユニットによる空調運転のみとなります。**
- **通常運転時は自立切替盤または自立ユニットのスイッチ操作は無効です。（「系統ランプ」、「空調ランプ」のみ点灯：自立切替盤のみ）**
- **異常が発生した場合、リモコンに異常コードが表示されます。**
- **本書は、通常運転の操作方法は記載しておりません。通常運転方法（リモコンの操作・表示等）については室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」もしくはリモコンに付属の「リモコン取扱説明書」をご覧ください。**

■自立運転

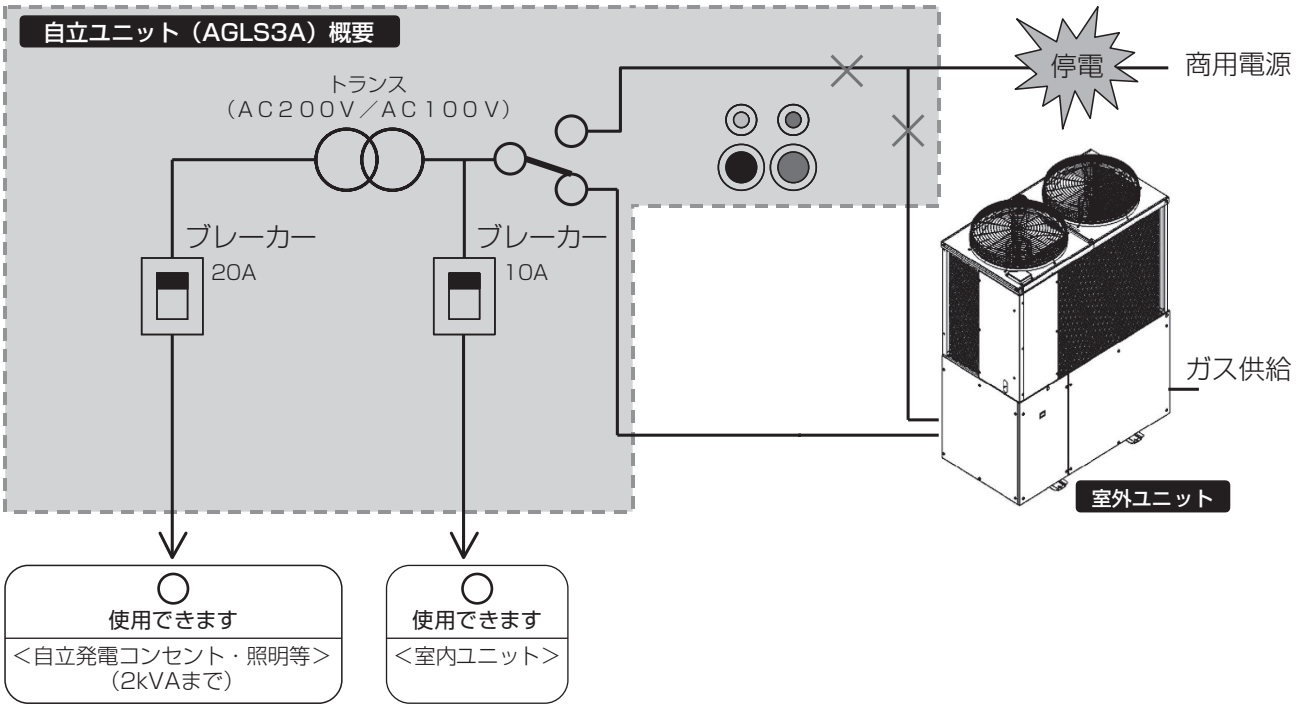
自立運転は停電時の空調および電源としてお使いいただくための機能です。
停電発生時に自動的には自立運転に切り替わりません。
自立運転を行う場合には、「自立運転のしかた」（19 ページ）をよく読んで正しく操作してください。

●自立運転＜自立運転モード［空調＋発電］＞

室外ユニットから自立発電コンセント（コンセントを介さず接続する電気機器も含む）に供給される総電力は 2kVA です。
ご使用される電気機器は総電力 2kVA までの範囲で選定・接続してください。
（16 ページの「 接続できる電気機器の一例（目安）」「接続できる蛍光灯の容量（目安）」および「接続してはいけない電気機器」を必ずお読みください。）
また室内ユニットにも電力が供給されますので、リモコン操作にて、空調運転ができます。



※ ブレーカー容量にあわせて接続負荷を選定してください。



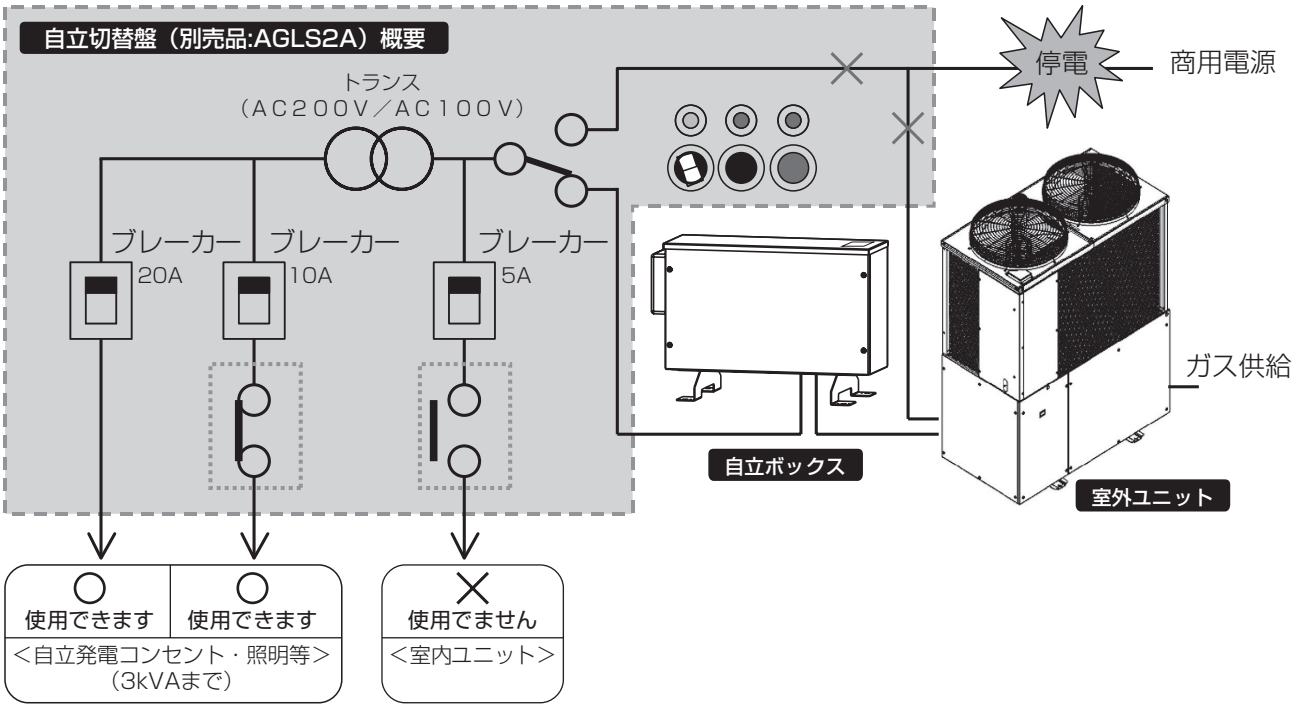
※ ブレーカー容量にあわせて接続負荷を選定してください。

お知らせ

- 異常が発生した場合、リモコンに異常コードが表示されます。
  また、自立切替盤・自立運転スイッチ・自立ユニットの異常ランプにて異常をお知らせいたします。
  ただし、システムが停止すると、リモコンに電源が供給されなくなり、異常コードの表示が消えます。
  （この場合、自立切替盤・自立運転スイッチ・自立ユニットにて、異常ランプをご確認ください。）
- 本書は、リモコンの操作方法は記載しておりません。空調運転をする場合、リモコンの操作・表示等の詳細については室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」もしくはリモコンに付属の「リモコン取扱説明書」をご覧ください。

●自立運転<自立運転モード［発電のみ］>（自立切替盤のみ）

室外ユニットから自立発電コンセント（コンセントを介さず接続する電気機器も含む）に供給される総電力は 3kVA です。
ご使用される電気機器は総電力 3kVA までの範囲で選定・接続してください。
（16 ページの「接続できる電気機器の一例（目安）」「接続できる蛍光灯の容量（目安）」および「接続してはいけない電気機器」を必ずお読みください。）
室内ユニットには電力が供給されません。（空調運転はできません）



※ブレーカー容量にあわせて接続負荷を選定してください。

お知らせ

● 異常が発生した場合、自立切替盤・自立運転スイッチの異常ランプにて異常をお知らせいたします。

■接続できる電気機器の一例（目安）

（当社調べ）

電気機器	一般的な消費電力（W）	必要発電量の目安（VA）
携帯電話の充電	15	15
21 インチブラウン管テレビ	85	85
40 インチ液晶テレビ	85	85
32 インチプラズマテレビ	150	150
電気ポット	900	900
扇風機	65	65
ホットカーペット	880	880
電気ストーブ	800	800
白熱灯（電球）	100	100
ハロゲンライト	250	1000
蛍光灯	下表参照	

■接続できる蛍光灯の容量（目安）（W）

蛍光灯タイプ	自立運転モード	
	［空調＋発電］	［発電のみ］
インバータ方式	1200	1500
ラピッドスタート方式	900	1200
グロー管スタート方式	200	300

※左記の表は、各蛍光灯タイプの接続できる最大容量です。
※LED 照明については、左表のインバータ方式に準じます。

※自立ユニットは自立運転モード［空調・発電］のみの運転となります。
※上記の表は目安であり、実際の電気機器の「消費電力」「必要発電量」は製品によって異なります。
ご使用の電気機器の消費電力、必要電力については製品の取扱説明書等でお確かめください。
※必要発電量の合計が発電定格出力値を超えないように接続してください。
発電定格出力値を超えて接続すると、過負荷を検出し、自立運転を停止する場合があります。
※本製品は、停電時に空調および携帯電話の充電、テレビ、照明等に使用することを目的に設計・製造されています。また、本製品は商用電源が復帰した場合、自動的に運転を停止しますので、生命や財産が損害を受けるおそれのある電気機器を接続しないでください。
※自立運転を開始しますと、自動的に電気機器に電源が供給されます。このため、ストーブ等、起動前に周囲の安全の確認が必要な電気機器については、自立発電電力が供給されてから、電気機器の電源を入れてください。

■接続してはいけない電気機器

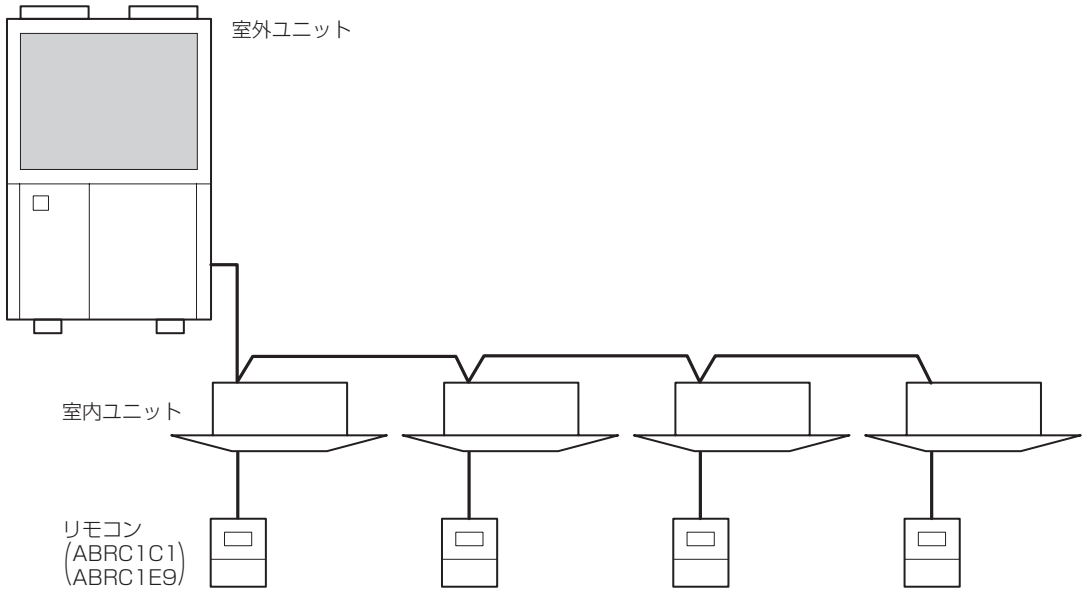
本機器を下記のような高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないでください。
・人命に関わる全ての医療機器やシステム
・人身の安全に直接関連する用途に用いる機器
（例：車両、エレベーターなど）
・社会的に重大な損害を与える可能性のある用途に用いる機器
（例：コンピューターシステムなど）
・灯油やガスを用いた暖房機器
・炊飯器、電子レンジ、冷蔵庫等、食品類を扱う機器
・必要発電量の合計が発電定格出力値を超えるような機器の接続
・その他、電源が切れると生命や財産に損害を与える可能性のある機器
・上記に準じる機器

■自立運転時の空調について

空調について

・リモコン操作・表示等の詳細は室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」もしくはリモコン付属の「リモコン取扱説明書」をご覧ください。
・空調能力は、通常運転時より低下します。
（運転条件によっては、冷えにくい、暖まりにくい場合があります）
・室内ユニットは全台温調運転もしくは停止となります。

液晶ワイヤードリモコン（ABRC1C1・ABRC1E9）をご使用の場合



自立運転時の室内ユニットは全台温調運転もしくは停止となりますので、以下の通りリモコン操作を行ってください。
（全てのリモコンを ON にし、全ての室内ユニットがサーモ ON 状態（温調運転状態）になると空調を開始します。）

●運転

①自立切替盤の「空調ランプ」が点灯していることを確認してください。（自立切替盤のみ）
②室内ユニットにつながっている全てのリモコンの「運転／停止スイッチ」を押して、リモコンの「運転ランプ」を点灯させ、サーモＯＮ状態（温調運転状態）になるよう温度設定を行ってください。

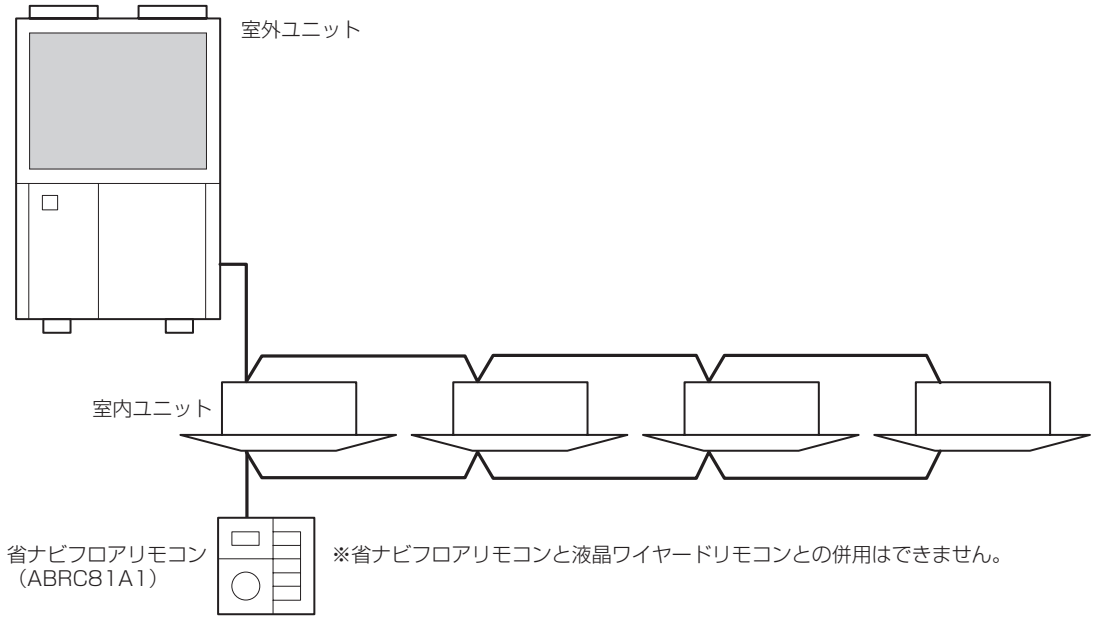
ご注意

1 台でもリモコン運転操作がされなかったり、サーモ OFF 状態（温調停止状態）の場合、空調できません。前記状態が一定時間継続すると、運転状態のリモコン表示部に［AC］（自立空調待機（リモコン OFF））もしくは、［AA］（自立空調待機（サーモ OFF））が表示されますので、必ず前記②の操作を行ってください。（②の操作が完了するとリモコン表示部の［AC］［AA］は消え、空調を開始します。）
室内ユニットが 1 台でもサーモ OFF 状態（温調停止状態）になると、全室内ユニットの空調を停止しますが、再度、全ての室内ユニットがサーモ ON 状態（温調運転状態）になると、空調を再開します。

●停止

・室内ユニットにつながっているリモコンのひとつでも停止操作をすると、全室内ユニットの空調を停止します。
このとき、運転状態のリモコン表示部に［AC］（自立空調待機（リモコン OFF））が表示されます。

省ナビフロアリモコン（ABRC81A1）をご使用の場合



自立運転時の室内ユニットは全台温調運転もしくは停止となりますので、省ナビフロアリモコンの「一括運転／一括停止」機能を使用し、空調の運転・停止を行ってください。
省ナビフロアリモコンの詳しい操作については、省ナビフロアリモコンに付属の「省ナビフロアリモコン取扱説明書」をご覧ください。

自立運転時は以下の通りリモコン操作を行ってください。
（全ての室内ユニットがサーモ ON 状態（温調運転状態）になると空調を開始します。）

●運転

①自立切替盤の「空調ランプ」が点灯していることを確認してください。（自立切替盤のみ）
②リモコンにより、一括運転を行います。
③室内ユニット全てがサーモ ON 状態（温調運転状態）になるよう温度設定を行ってください。

ご注意

室内ユニットが 1 台でもサーモ OFF 状態（温調停止状態）の場合、空調できません。前記状態が一定時間継続すると、リモコン表示部に［AA］（自立空調待機（サーモ OFF））が表示されますので、必ず前記③の操作を行ってください。（③の操作が完了するとリモコン表示部の［AA］は消え、空調を開始します。）
室内ユニットが 1 台でもサーモ OFF 状態（温調停止状態）になると、全室内ユニットの空調を停止しますが、再度、全ての室内ユニットがサーモ ON 状態（温調運転状態）になると、空調を再開します。

●停止

・リモコンで一括停止操作を行うと、全室内ユニットの空調を停止します。

自立発電ガスヒートポンプの空調には省ナビフロアリモコン（ABRC81A1）のご使用をお勧めします。

自立運転のしかた　－自立運転モード［空調＋発電］の場合－

自立切替盤（別売品もしくは現地手配品）または自立ユニットにて操作します。
一部の操作・表示は自立運転スイッチ（別売品もしくは現地手配品）でも操作できます。

※燃料ガス種を変更する場合は、専門の資格と知識が必要です。詳しくはお買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

⚠ 警告　使用上の注意事項

●運転する前に必ず、下記確認作業を実施する
- **エアコン本体の異常（冷媒もれ、燃料ガスもれ、異臭、異音）等がないことを確認**
- **自立切替盤の異常（異臭、異音）等がないことを確認**
- **自立ボックス・自立ユニットの異常（液もれ、異臭、異音）等がないことを確認**

発煙・発火・爆発のおそれがあります。

●生命や財産が損害を受けるおそれのある機器を接続しない

この製品は停電時に空調および携帯電話の充電、テレビ、照明等に使用することを目的に設計・製造されています。前記目的以外で使用しないでください。

禁止

お願い

自立発電容量以上の電気機器を接続しないでください。

本製品の保護装置が働き、接続された電気機器への電力の供給が止まりますので、接続する電気機器の選定にはご注意ください。

空調について

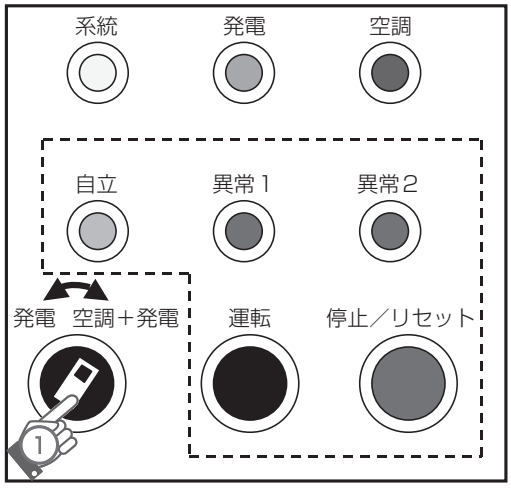
- リモコン操作・表示等の詳細は室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」もしくはリモコンに付属の「リモコン取扱説明書」をご覧ください。
- 空調能力は、通常運転時より低下します。（運転条件によっては、冷えにくい、暖まりにくい場合があります）
- 室内ユニットは全台温調運転もしくは停止となります。

－自立運転モード［空調＋発電］の場合－

〈ここでは当社別売品の自立切替盤（型式：AGLS2A）、自立ユニット（型式：AGLS3A）を使用した場合を例に説明します。〉

●自立運転モードの切り替え

・自立切替盤スイッチ



※ 自立運転スイッチはイラストの破線で囲われた部分の操作スイッチ・表示ランプが別体になったものです。

お願い

自立運転モードの切り替え前に「運転ボタン」を押さないでください。
「運転ボタン」を押してから「モード選択スイッチ」（発電　⇔　空調＋発電）を操作すると、機器の動作不良の原因になります。（自立切替盤のみ）

① **「モード選択スイッチ」**（発電　⇔　空調＋発電）**を［空調＋発電］側にし、自立運転モードを切り替えます。（自立切替盤のみ）**

【自立運転中に自立運転モードを切り替える場合】（自立切替盤のみ）

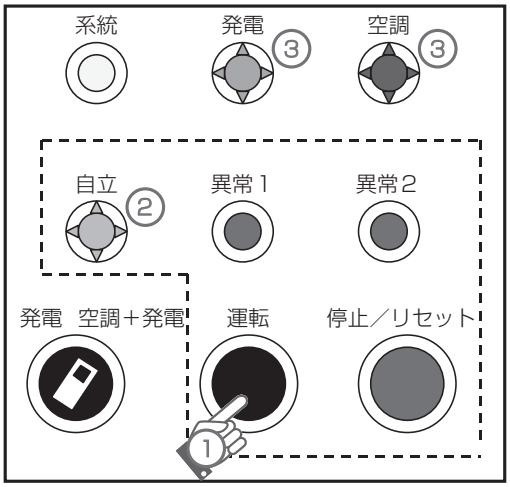
1.「停止／リセットボタン」を押します。
2.「発電ランプ」が消灯したことを確認し、「モード選択スイッチ」（発電　⇔　空調＋発電）にて、自立運転モードを切り替えてください。

－自立運転モード［空調＋発電］の場合－

●運転

※ 機器停止直後に「運転ボタン」を押した場合は、再起動に時間がかかる場合があります。（エンジン保護のため冷却水温度が下がるまで運転を開始しません。）
しばらく待ってから再度「運転ボタン」を押してください。

・自立切替盤スイッチ



お願い

「空調ランプ」、「発電ランプ」が点灯する前にリモコンを操作したり、自立発電コンセントに接続された電気機器の電源スイッチをＯＮにしないでください。（自立切替盤のみ）

■自立切替盤スイッチのフロー

①「運転ボタン」を押します。

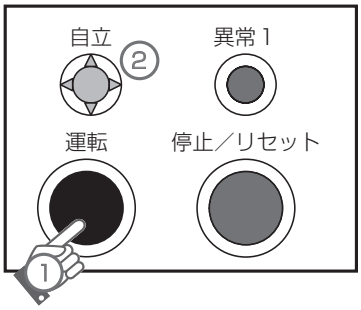
② 運転準備が整うと「自立ランプ」が点灯しますので確認してください。
※「運転ボタン」を押してから数秒後に点灯します。

③ 機器が始動し、発電を始めると「空調ランプ」、「発電ランプ」が点灯しますので、確認してください。
※「運転ボタン」を押してから各ランプが点灯するまで、数分かかる場合があります。

＜＜自立運転の運転開始＞＞

【空調・電気機器使用時のご注意】
「空調ランプ」、「発電ランプ」が点灯していることを確認し、空調および、電気機器を使用してください。（自立切替盤のみ）

・自立ユニット側面スイッチ



■自立ユニット側面スイッチのフロー

①「運転ボタン」を押します。

② 運転準備が整うと「自立ランプ」が点灯しますので確認してください。
※「運転ボタン」を押してから数秒後に点灯します。

③ 室内ユニットリモコン表示の点灯、各接続機器の通電ランプの状態で機器始動を確認してください。
※「運転ボタン」を押してから各ランプが点灯するまで、数分かかる場合があります。

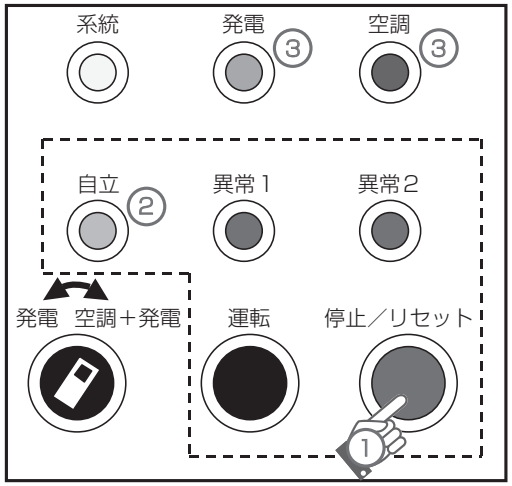
＜＜自立運転の運転開始＞＞

・「運転ボタン」を押すと、１台目から順に始動します。
・１台目の室外ユニットが発電を始めた後、２台目の室外ユニットが発電を始めます。
・２台目の室外ユニットが発電を始めた後、３台目の室外ユニットが発電を始めます。

－自立運転モード［空調＋発電］の場合－

●停止

・自立切替盤スイッチ



お願い

自立運転を停止する前に、以下を行ってください。
- ・エアコンの運転を停止する。
- ・自立発電コンセントに接続している電気機器の電源スイッチを OFF にする。

■自立切替盤スイッチのフロー

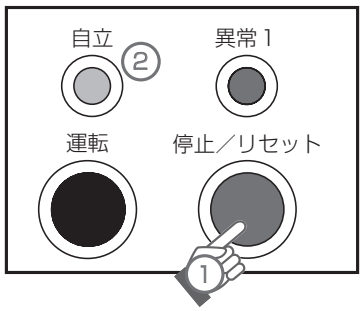
①「停止／リセットボタン」を押します。

② 停止準備が整うと「自立ランプ」が消灯しますので、確認してください。
※「停止／リセットボタン」を押してから数秒後に消灯します。

③ 機器が停止動作に入ると、「空調ランプ」、「発電ランプ」が消灯しますので確認してください。
※「停止／リセットボタン」を押してから、数十秒から数分後に消灯します。

④ 自立運転が停止します。

・自立ユニット側面スイッチ



■自立ユニット側面スイッチのフロー

①「停止／リセットボタン」を押します。

② 停止準備が整うと「自立ランプ」が消灯しますので、確認してください。
※「停止／リセットボタン」を押してから数秒後に消灯します。

③ 室内ユニットリモコン表示の消灯、各接続機器の通電ランプの状態で機器停止を確認してください。
※「停止／リセットボタン」を押してから、数十秒から数分後に消灯します。

④ 自立運転が停止します。

＜＜自立運転の運転停止＞＞
- ・「停止 / リセットボタン」を押すと、3 台とも停止動作に入ります。

【停電が復旧した後のご注意】

停電が復旧したら、すみやかに以下を行ってください。
- ・リモコンで室内ユニットの運転を停止する。
- ・自立発電コンセントに接続された電気機器の電源スイッチを OFF にする。
- ・上記の手順に従い、自立運転を停止する。

（本製品は自立運転時に停電が復旧した場合、しばらくすると自動的に自立運転を停止します。
なお、運転状態によって、自動で空調運転が再開しない場合がありますのでご注意ください。
その場合は、空調運転を再開するため、再度リモコンを操作していただく必要があります。）
当社別売品の自立切替盤（型式：AGLS2A）または自立ユニット（型式：AGLS3A）をご使用の場合、自立運転を停止すると自動的に室内ユニット、自立発電コンセントに商用電力（系統）が供給されます。

自立運転のしかた　－自立運転モード[発電のみ]の場合－（自立切替盤のみ）

自立切替盤（別売品もしくは現地手配品）にて操作します。
一部の操作・表示は自立運転スイッチ（別売品もしくは現地手配品）でも操作できます。

※燃料ガス種を変更する場合は、専門の資格と知識が必要です。詳しくはお買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

⚠ 警告　使用上の注意事項

●運転する前に必ず、下記確認作業を実施する
- **エアコン本体の異常（冷媒もれ、燃料ガスもれ、異臭、異音）等がないことを確認**
- **自立切替盤の異常（異臭、異音）等がないことを確認**
- **自立ボックスの異常（液もれ、異臭、異音）等がないことを確認**
  発煙・発火・爆発のおそれがあります。

●生命や財産が損害を受けるおそれのある機器を接続しない
この製品は停電時に空調および携帯電話の充電、テレビ、照明等に使用することを目的に設計・製造されています。前記目的以外で使用しないでください。

禁止

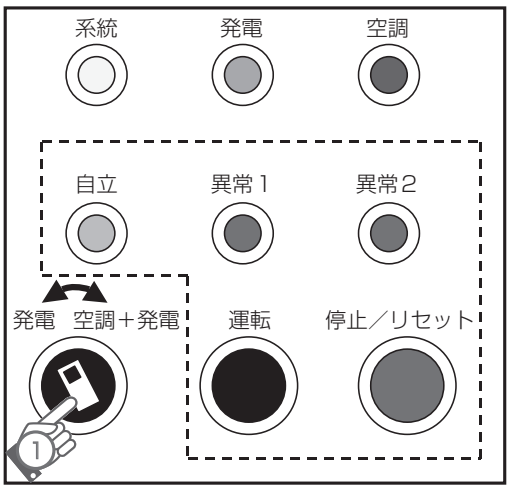
お願い

自立発電容量以上の電気機器を接続しないでください。
本製品の保護装置が働き、接続された電気機器への電力の供給が止まりますので、接続する電気機器の選定にはご注意ください。

〈ここでは当社別売品の自立切替盤（型式：AGLS2A）を使用した場合を例に説明します。〉

●自立運転モードの切り替え

・自立切替盤スイッチ



※ 自立運転スイッチはイラストの破線で囲われた部分の操作スイッチ・表示ランプが別体になったものです。

お願い

自立運転モードの切り替え前に「運転ボタン」を押さないでください。
「運転ボタン」を押してから「モード選択スイッチ」（発電　⇔　空調＋発電）を操作すると、機器の動作不良の原因になります。

① **「モード選択スイッチ」**（発電　⇔　空調＋発電）**を［発電］側にし、自立運転モードを切り替えます。**

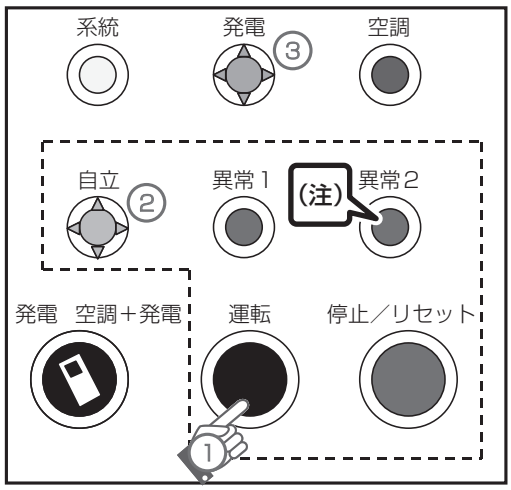
【自立運転中に自立運転モードを切り替える場合】
1. 「停止／リセットボタン」を押します。
2. 「発電ランプ」が消灯したことを確認し、「モード選択スイッチ」（発電　⇔　空調＋発電）にて、自立運転モードを切り替えてください。

－自立運転モード[発電のみ]の場合－(自立切替盤のみ)

●運転

※ 機器停止直後に「運転ボタン」を押した場合は、再起動に時間がかかる場合があります。(エンジン保護のため冷却水温度が下がるまで運転を開始しません。)
しばらく待ってから再度「運転ボタン」を押してください。

・自立切替盤スイッチ



お願い

「発電ランプ」が点灯する前に自立発電コンセントに接続された電気機器の電源スイッチを ON にしないでください。

① 「運転ボタン」を押します。

② 運転準備が整うと「自立ランプ」が点灯しますので確認してください。
※「運転ボタン」を押してから数秒後に点灯します。

③ 機器が始動し、発電を始めると「発電ランプ」が点灯しますので、確認してください。
※「運転ボタン」を押してから「発電ランプ」が点灯するまで、数分かかる場合があります。

<<自立運転の運転開始>>

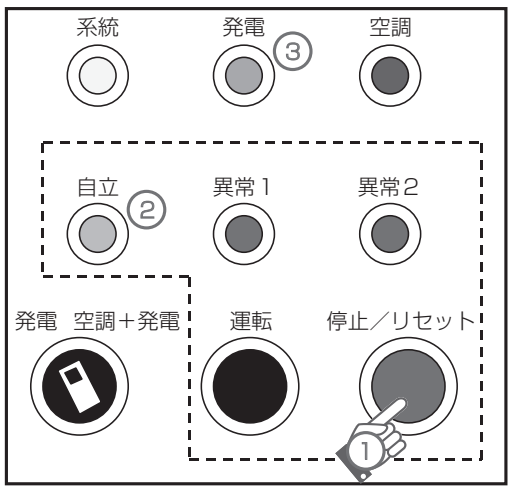
【電気機器使用時のご注意】
「発電ランプ」が点灯していることを確認し、電気機器を使用してください。

知っておいてください

(注)：自立運転モード［発電のみ］で運転すると、運転開始から約 20 分後に［異常 2 ランプ］が点灯します。［異常 2 ランプ］が点灯しても［発電ランプ］が点灯していれば、継続して運転することができます。

●停止

・自立切替盤スイッチ



お願い

●自立運転を停止する前に、自立発電コンセントに接続された電気機器の電源スイッチを OFF にしてください。

① 「停止／リセットボタン」を押します。

② 停止準備が整うと「自立ランプ」が消灯しますので確認してください。
※「停止／リセットボタン」を押してから数秒後に消灯します。

③ 機器が停止動作に入ると、「発電ランプ」が消灯しますので確認してください。
※「停止／リセットボタン」を押してから、数十秒から数分後に消灯します。

④ 自立運転が停止します。

【停電が復旧した後のご注意】
停電が復旧したら、すみやかに以下を行ってください。
・自立発電コンセントに接続された電気機器の電源スイッチを OFF にする。
・上記の手順に従い、自立運転を停止する。
(本製品は自立運転時に停電が復旧した場合、しばらくすると自動的に自立運転を停止します。
なお、自動で通常運転にて運転を再開しませんのでご注意ください。)
当社別売品の自立切替盤（型式：AGLS2A）をご使用の場合、自立運転を停止すると自動的に自立発電コンセントに商用電力（系統）が供給されます。

燃料ガス切替のしかた

– 燃料切替ボックス、燃料切替ハーネスを組み合わせた場合 –

燃料切替ボックスを操作して、燃料ガス種を切り替えます。

⚠ 警告　使用上の注意事項

- **作業は施設管理者が行う**
- **作業する前に、燃料切替ボックスの異常 (ガス漏れ、異臭) 等がないことを確認する**
  発煙・発火・爆発の恐れがあります。
- **切替ボックス操作後には、必ずガス種設定が正しく切り替わっていることを確認する**
  誤った組み合わせにすると、正常に動作しないばかりか、不完全燃焼を起こし中毒の原因になります。
  もし、切替ボックス操作と異なる表示になっていたら、お買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

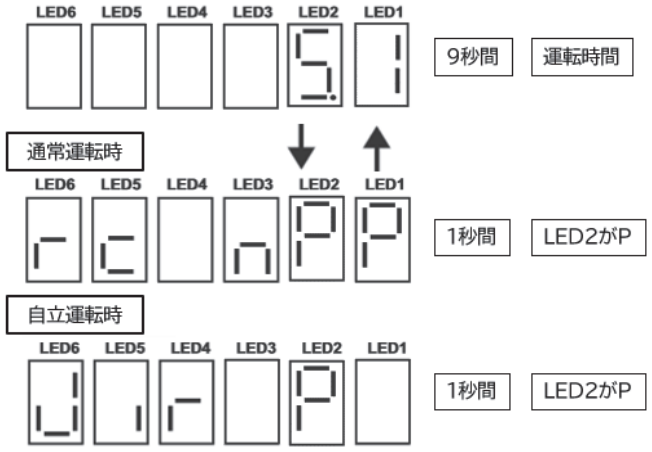
お願い

- 燃料切替直後はエンストする可能性があります。起動するまで起動操作を繰り返してください。
- 燃料切替ボックスのバルブ操作の詳細は、燃料切替ボックスの取扱説明に従ってください。

●燃料ガスをプロパンガスに切り替え

① 都市ガス用バルブを、「閉」にしてください。
② 三方弁を、「プロパンガス用バルブ側」へ回してください。
③ スライドレールを、「都市ガス用バルブ側」にロックするまで移動させてください。
④ プロパンガス用バルブを、「開」にしてください。
⑤ 室外ユニット背面の装置銘板の上に、ガス種変更ラベル (LP) を貼ってください。
⑥ 室外ユニット通電後、室外ユニットの運転時間表示で LED2 の表示が「P」になっていることを確認してください。(自立時は、エンジン始動後に運転時間表示になります)

・室外ユニットの運転時間表示



– 燃料切替ボックス、燃料切替ハーネスを組み合わせた場合 –

●燃料ガス種を都市ガスに切り替え

① プロパンガス用バルブを、「閉」にしてください。

② 三方弁を、「都市ガス用バルブ側」に回してください。

③ スライドレールを、「プロパンガス用バルブ側」にロックするまで移動させてください。

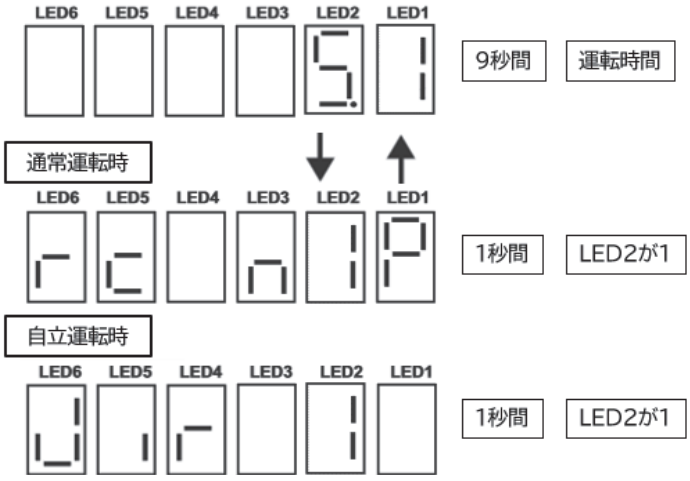
④ 都市ガス用バルブを、「開」にしてください。

⑤ 室外ユニット背面右下の装置銘板から、ガス種変更ラベル (LP) を外してください。

⑥ 外したラベルは、燃料切替ボックス内に収納してください。

⑦ 室外ユニット通電後、室外ユニットの運転時間表示で LED2 の表示が「1」になっていることを確認してください。(自立時は、エンジン始動後に運転時間表示になります)

・室外ユニットの運転時間表示



お手入れのしかた

■シーズン始め・終わりのお手入れ

⚠ 警告

●**可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。


禁止

●**室内・室外ユニット・自立ボックス・自立ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する**
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。



⚠ 注意

●**室内・室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない**
ケガの原因になることがあります。


禁止

●**室内ユニットの操作やお手入れのときは不安定な台に乗らない**
転倒などケガの原因になることがあります。


禁止

●**室内ユニットを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。


水ぬれ禁止

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する**
電源を遮断しないと、感電やケガの原因になることがあります。機器の保護、性能維持のため、停止中であっても、自動で一時的にファン等が作動する場合があります。室内ユニット・室外ユニットに触れる場合は必ず電源ブレーカーを遮断してください。



お願い

●**リモコン操作パネルの表面を、ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどでふかない。**
変色したり、塗料がはげたりすることがあります。
汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとり、乾いた布で仕上げてください。

■シーズン終わりのお手入れ

- 晴れた日に半日ほど送風運転をし、室内ユニットの内部をよく乾燥させてください。
- 室内ユニットの掃除の前には、必ず自立切替盤または自立ユニットの室内ユニット用電源ブレーカーをOFF し、エアフィルターと室内ユニット本体を掃除して、エアフィルターをもとに戻してください。
  室内ユニットのお手入れ方法は、室内ユニットに付属の「室内ユニットお手入れのしかた」をご覧ください。
- 室内ユニットのお手入れが終わったら、自立切替盤または自立ユニットの室内ユニット用電源ブレーカーを ON してください。
- ガスの元栓を閉じてください。

※全てのお手入れが終わったら、自立切替盤または自立ユニットのブレーカー全てが ON していることを確認してください。バッテリーの放電を防ぐために、通年、商用電源をエアコンに通電してください。
（自立切替盤または自立ユニットの「系統ランプ」が点灯していることを確認してください。）

■シーズン始めのお手入れ

- 室外ユニットの排気口や排気ドレンをふさいでいないか確認してください。
- 室内ユニット、室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口のまわりに風の障害になるようなものがないか確認してください。
- 室内ユニットのエアフィルターの点検をしてください。汚れていたら掃除をして取り付けてください。
  （エアフィルターの点検前には、必ず自立切替盤または自立ユニットの室内ユニット用電源ブレーカーを OFF して作業してください）室内ユニットのお手入れ方法は、室内ユニットに付属の「室内ユニットお手入れのしかた」をご覧ください。
- 室内ユニットのお手入れが終わったら、自立切替盤または自立ユニットの室内ユニット用電源ブレーカーを ON してください。
- ガスの元栓を開けてください。

※全てのお手入れが終わったら、自立切替盤または自立ユニットのブレーカー全てが ON していることを確認してください。バッテリーの放電を防ぐために、通年、商用電源をエアコンに通電してください。
（自立切替盤の「系統ランプ」が点灯していることを確認してください。）

調子がおかしいときは

■サービスを依頼される前にお調べください。

（ここでは自立運転特有部分のみを記載しています。室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」とあわせてご覧ください。）

●自立運転共通事項		
症状	原因	処置
自立切替盤・自立ユニットの「運転ボタン」を押しても全然運転しない 「自立ランプ」が点灯しない	商用電力が通電されていませんか？	停電時にご使用ください。
「異常１ランプ」が点灯している	燃料ガス栓が閉じていませんか？	燃料ガス栓を開けてください。
	震度５相当以上の揺れがあり、ガスマイコンメータが自動で燃料ガスを遮断している可能性がありませんか？	ガスマイコンメータの取扱説明書に従い、復帰させてください。
	燃料ガスを変更した場合、燃料ガス種の設定変更を依頼しましたか？（燃料切替ハーネスキット未使用時）	燃料ガスを変更した場合、燃料ガス種の設定変更が必要です。 詳しくはお買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。
	燃料切替ボックスを使用し、燃料切替ボックスから室外ユニットまでの配管が長いですか？	燃料ガスをプロパンガスに切り替えた後、ガス配管に残っている都市ガスの影響でエンジン始動後すぐにエンストすることがあります。何度か始動するとプロパンガスに切り替わりますので、始動を繰り返してください。
	発電容量を超えた電気機器を接続していませんか？（発電過負荷）	接続している電気機器を減らしてください。また、起動電力が大きいモータなどを備えた電気機器も接続できない場合があります。
接続した電気機器が動作しない	自立切替盤・自立ユニットの自立発電用ブレーカーが OFF していませんか？	接続している電気機器を減らし、OFF しているブレーカーを ON してください。 また、起動電力が大きいモータなどを備えた電気機器も接続できない場合があります。
自立切替盤・自立ユニットのランプが全て消灯している	異常停止してから 10 分以上経過していませんか？	異常が発生し、エンジン停止後、10 分を超えると、バッテリーの消耗を防ぐために、自立切替盤・自立ユニットの各ランプを消灯するためです。 異常の状態を確認するには、自立切替盤の「運転ボタン」を押してください。

●自立運転モード［空調＋発電］の場合		
症状	原因	処置
リモコンに表示が出ない	自立切替盤・自立ユニットの室内ユニット用ブレーカーが OFF していませんか？	自立切替盤・自立ユニットの室内ユニット用ブレーカーを ON してください。 再度 OFF の位置になる場合、お買上げの販売店にご連絡ください。

■次の場合は、故障ではありません

（ここでは自立運転特有部分のみを記載しています。室外ユニットに付属の「ガスヒートポンプエアコン取扱説明書」とあわせてご覧ください。）

●自立運転共通事項		
症状		原因
自立切替盤・自立ユニットの「運転ボタン」を押してもすぐに運転しない	自立切替盤・自立ユニットの「停止ボタン」を押してから短時間で「運転ボタン」を押したとき	機器に無理がかからないよう、再運転までの時間をコントロールしています。しばらく待ってから再度「運転ボタン」を押してください。
接続した電気機器が動作しない	運転開始直後	自立切替盤・自立ユニットで運転開始操作を行ってから、発電が安定するまで数分かかる場合があります。 しばらくお待ちください。

●自立運転モード［空調＋発電］の場合		
症状		原因
部屋毎に空調（温感）のばらつきがある（冷えにくい、暖まりにくい）	運転中	発電動作を優先しているためです。
接続した電気機器が動作しない	運転中	自立運転モード［空調＋発電］時に使用できるコンセントをお確かめください。
リモコンに表示が出ない	運転開始直後	自立切替盤・自立ユニットで運転開始操作を行ってから、発電が安定するまで数分かかる場合があります。 しばらくお待ちください。
リモコンに［AA］［AC］が表示され、空調しない	運転中	1 台でもリモコン運転操作がされなかったり、サーモ OFF 状態（温調停止状態）の場合、全室内ユニットは空調しません。 詳しくは 17、18 ページを参照してください。

●自立運転モード［発電のみ］の場合（自立切替盤のみ）		
症状		原因
リモコンに表示が出ない	運転中	自立運転モード［発電のみ］の場合、室内ユニットに電力が供給されないためです。空調したい場合、一旦機器を停止し、自立運転モード［空調＋発電］に切り替えてから、再度運転してください。

■異常が発生した場合、ご連絡を。

⚠ 警告

●**室外ユニットの燃料ガスもれに気づいたときはガスの元栓をしめ、至急お買上げの販売店にご連絡ください**
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。
処置が終わるまで絶対に火気を近づけないでください。

●**冷媒ガスがもれているときは室内の換気をし、至急お買上げの販売店にご連絡ください**
冷媒がもれて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

●**つぎのような場合には室内ユニットの運転を止めてお買上げの販売店にご連絡ください**
・ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき。
・冷房、除湿運転中に室内ユニットから水がもれるとき。
・所定の処置を行ってもリモコンの 運転ランプが赤色点滅するとき。
・通常の方法でも停止しないとき。
・室外ユニット、室内ユニット、自立ボックスの異常音、異常振動、異臭があるとき。

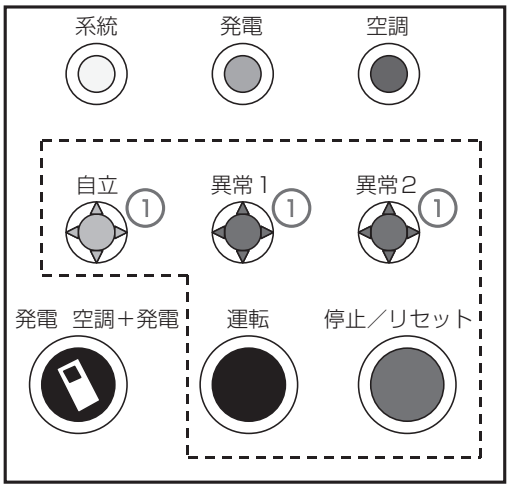
症　状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置がたびたび作動する。	電源を入れないでください。
リモコン運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
室内ユニットから水がもれる。	運転を停止してください。
リモコンの基本画面に次のいずれかの表示が点滅する。 **『異常：メニューボタンを押してください』** ※運転ランプの点滅あり **『警報：メニューボタンを押してください』** ※運転ランプの点滅なし 	リモコンの表示にしたがって異常コードと機種名を確認のうえ、お買い上げの販売店に連絡してください。 リモコン「ABRC1C1」の場合も同様にリモコンの表示内容を確認し、連絡してください。
（燃料切替ハーネス付） **燃料切替操作後、室外ユニットの LED 表示が説明書と異なる** **例：プロパンガス切替後に、LED2 の表示が 1 になる** **：都市ガス切替後に、LED2 の表示が P になる**	室外ユニット周辺の換気を確保してください。通常より濃度の高い排ガスが排出されることがあります
（燃料切替ハーネス付） **都市ガス供給時に、エンジン始動後すぐにエンストする**	室外ユニットの LED 2の表示を確認し、お買い上げの販売店に連絡してください。

●リモコン表示部に「HF」（定期点検）、「PH」（バッテリー交換）が表示されたらお買上げの販売店にご連絡ください。

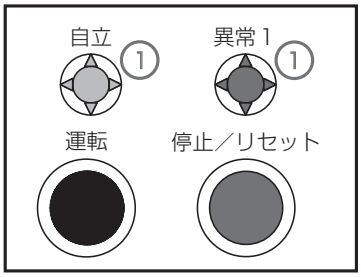
＜リモコンで異常の確認ができない場合（自立運転時）＞

●自立切替盤・自立ユニットでの異常の確認（エンジン停止後 10 分以内）

・自立切替盤スイッチ



・自立ユニット側面スイッチ



お知らせ

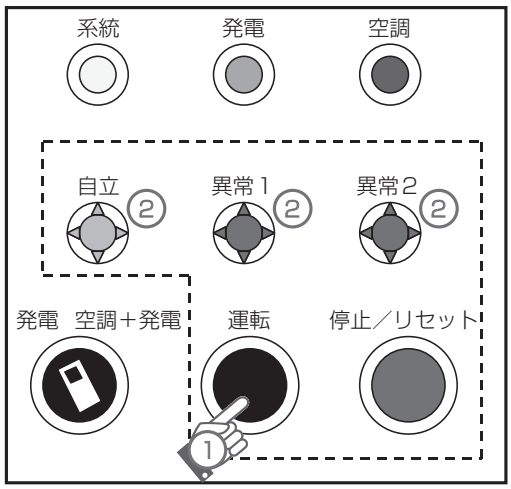
自立運転モード［空調＋発電］で運転中に異常が発生した場合、エンジンが停止していない状態であれば、リモコン表示部分に異常コードが表示されますので、「異常コード一覧表」（31 ～ 33 ページ）を参照して、異常の内容をご確認ください。

①「自立ランプ」および、「異常１ランプ」あるいは「異常２ランプ」が点灯しているのを確認してください。ただし、自立ユニットの場合は「自立ランプ」および「異常 1 ランプ」の点灯を確認してください。

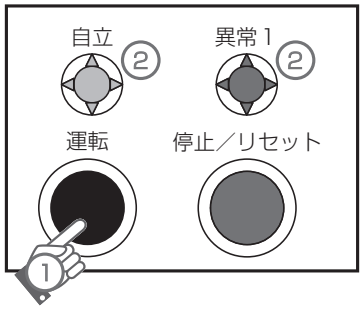
※両方の異常ランプが点灯する場合もあります。

●自立切替盤・自立ユニットでの異常の確認（エンジン停止後、10 分を経過した場合）

・自立切替盤スイッチ



・自立ユニット側面スイッチ



お知らせ

異常が発生し、エンジン停止後 10 分を超えると、バッテリーの消耗を防ぐために、自立切替盤・自立ユニットの各ランプは消灯します。この場合、異常の状態を確認するには、以下の手順で確認してください。

①「運転ボタン」を押します。

②「自立ランプ」および、「異常１ランプ」あるいは「異常２ランプ」が点灯しますので確認してください。ただし、自立ユニットの場合は「自立ランプ」および「異常 1 ランプ」が点灯しますので確認してください。
※両方の異常ランプが点灯する場合もあります。

お願い

「異常 1 ランプ」、「異常 2 ランプ」が点灯した場合、お買上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口（裏表紙）にどの異常ランプが点灯しているかをご連絡ください。

■異常コード一覧表（リモコンに表示される異常コード一覧です）

異常コード	異　常　内　容
A0	室内ユニット・外部保護装置動作
A1	室内ユニット・プリント基板ＡＳＳＹ　ＥＥＰＲＯＭ設定異常
A3	室内ユニット・ドレン水位系異常
A6	室内ユニット・ファンロック
A7	室内ユニット・風向調整電動機異常
A8	室内ユニット・電源電圧異常
A9	室内ユニット・電子膨張弁駆動部異常
AF	室内ユニット・異常ドレン
AH	室内ユニット・集塵機異常
AJ	室内ユニット・容量設定不良
C1	室内ユニット・伝送異常 （室内プリント基板－ファン用プリント基板・室内プリント基板－アダプタプリント基板）
C4	室内ユニット・液管用サーミスタ異常
C5	室内ユニット・ガス管用サーミスタ異常
C6	室内ユニット・組合わせ不良（室内プリント基板－ファン用プリント基板）
C9	室内ユニット・吸込空気用サーミスタ異常
CA	室内ユニット・吹出空気用サーミスタ異常
CE	室内ユニット・人検知／床温度検知センサー異常
CJ	室内ユニット・リモコンセンサー異常
U0	室外ユニット・冷媒空
U4	室内ユニット－室外ユニット間伝送異常
U5	リモコン－室内ユニット間伝送異常
U7	室外ユニット間通信異常
U8	主リモコン－従リモコン間伝送異常
U9	他室内ユニット異常 室内ユニット－室外ユニット間伝送異常
UA	室内ユニット接続容量オーバー 室内ユニットプリント基板種別設定不良 室内・室外ユニット組合わせ不良
UC	集中管理アドレス重複 エアネットアドレス重複（室外ユニット遠隔監視アドレス設定時のみ）
UE	室内ユニット－集中コントローラ間伝送異常
UF	系統未設定・誤配線
UH	システム系異常
AA	室外ユニット・自立空調運転待機（サーモＯＦＦ）
AC	室外ユニット・自立空調運転待機（リモコンＯＦＦ）
E1	室外ユニット・ＥＥＰＲＯＭ異常 機種コード異常 メインマイコン－エンジンマイコンプログラムアンマッチ メインマイコン－エンジンマイコン間通信異常 メインマイコン－インターフェースマイコン間通信異常 メインマイコン－インバータ間通信異常
E3	室外ユニット・冷媒高圧異常
E4	室外ユニット・冷媒低圧異常

■異常コード一覧表（リモコンに表示される異常コード一覧です）

異常コード	異常内容
E7	室外ユニット・熱交ファン起動失敗（1・2 いずれか） 熱交ファン回転数異常（1・2 いずれか） 熱交ファン全数不良
EA	室外ユニット・四方弁切換不良
EC	室外ユニット・エンジン冷却水温過上昇 エンジン冷却水温未上昇
EH	室外ユニット・ウォータポンプ起動失敗 ＩＰＭ異常
F3	室外ユニット・吐出温度過上昇
F4	室外ユニット・吸入温度過上昇 吸入過熱度未上昇
FE	室外ユニット・エンジン油圧異常
FF	室外ユニット・冷凍機油切れ
FJ	室外ユニット・排気温度異常
H3	室外ユニット・冷媒高圧スイッチ断線
H9	室外ユニット・外気温度サーミスタ異常（断線・短絡）
HC	室外ユニット・エンジン冷却水サーミスタ異常（断線・短絡）
HJ	室外ユニット・エンジン冷却水空
PA	室外ユニット・バッテリー交換予告
PH	室外ユニット・バッテリー交換
U2	室外ユニット・バッテリー温度異常 充電電圧異常 バッテリー異常 バッテリー温度サーミスタ断線 バッテリー温度サーミスタ短絡 バッテリー電圧検出回路異常 スタータサイリスタ故障
L0	室外ユニット・インバータ直流過電圧異常 インバータ直流不足電圧異常 インバータＩＰＭ異常（過熱） インバータＩＰＭ異常（過電流） インバータＩＰＭ異常（電源電圧不足） インバータ過電流異常 インバータ過負荷異常 インバータ出力過電圧異常 インバータ出力不足電圧異常 インバータ出力電圧センサー異常 インバータ出力電流センサー異常 インバータ直流中間電圧センサー異常 インバータ過電圧防止回路高温異常 インバータ１２Ｖ電源電圧異常 インバータ出力周波数異常 系統周波数計測不能

■異常コード一覧表（リモコンに表示される異常コード一覧です）

異常コード	異　常　内　容
HF	室外ユニット・定期点検
J3	室外ユニット・吐出温度サーミスタ異常（1 ・ 2 いずれか）（断線・短絡）
J4	室外ユニット・アキュム出口温度サーミスタ異常（断線・短絡）
J5	室外ユニット・吸入温度サーミスタ異常（断線・短絡）
J6	室外ユニット・熱交液温度サーミスタ異常（断線・短絡） 熱交ガス温度サーミスタ異常（断線・短絡）
J7	室外ユニット・サブ熱交出口温度サーミスタ異常（断線・短絡）
J8	室外ユニット・液管温度サーミスタ異常（断線・短絡）
JA	室外ユニット・冷媒高圧センサー異常（1 ・ 2 いずれか）
JC	室外ユニット・冷媒低圧センサー異常
JE	室外ユニット・エンジン油圧スイッチ断線
JJ	室外ユニット・エンジンルーム温度サーミスタ異常（断線・短絡） 排気温度サーミスタ断線
LE	室外ユニット・イグナイタ異常（過小電圧・断線・過電圧） スタータトランス電圧断線
LF	室外ユニット・エンジン始動失敗
LH	室外ユニット・発電コンバータ重故障 発電コンバータ軽故障
LJ	室外ユニット・エンジンストップ エンジン失火（1 ・ 2 ・ 3 ・ 4番気筒いずれか）
P8	室外ユニット・エンジン回転数制御異常 エンジン起動時回転数不足 エンジン過回転異常（1 ・ 2 いずれか）
PE	室外ユニット・ガス弁出力異常
PF	室外ユニット・スタータ誤動作異常

アフターサービスと保証について

⚠ 警告

●**自分で分解や改造・修理・点検をしない**
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



●**移動・再設置は、自分でしない**
据え付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



●**冷媒がもれた場合、火気の使用を中止し、部屋の換気をする**
万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

・ 室外ユニット型式名
・ 室外ユニット製造番号
} 保証書に記載してあります。
・ 故障状況ーできるだけ詳しく
（リモコンに表示されている「異常コード」および、自立切替盤（別売品または現地手配品）・自立ユニットの異常ランプの番号もお知らせください。）
・ ご住所・お名前・お電話番号

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室外ユニット、自立ボックスの補修用性能部品を製造打切後 9 年間保有しています。

■定期点検・保守契約について

エアコンを長期間安心してご使用いただくためには専門のサービスマンによる定期点検（有料）が必要です。「定期点検」と「修理対応」がセットになった「保守契約（有料）」をご用意しておりますので、結ぶことをおすすめします。

移設、廃棄について

室内・室外ユニット、自立ボックス・自立ユニットを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。

●工事はお買上げの販売店に依頼し、お客様ご自身ではしないでください。

●転居などで室内・室外ユニット、自立ボックス・自立ユニットを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店にご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

●この製品を移動･再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収･運搬・破壊が義務付けられています。いずれの場合も、お買上げの販売店にご相談ください。

●使用済みのバッテリーは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める「特別管理産業廃棄物」です。使用済みのバッテリーを廃棄またはリサイクルする場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく回収・運搬・処理・書面管理が義務付けられています。
詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。

保証について

■保証書について

この室内・室外ユニット、自立ボックス・自立ユニットには室外ユニットに保証書が付いています。
保証書は所定項目への記入と販売店印が押してあることをご確認のうえ、お買上げの販売店よりお受取りいただき大切に保管してください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間が過ぎてからの修理については、修理によって室内・室外ユニット、自立ボックス・自立ユニットの機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。
修理についてはお買上げの販売店またはお客様ご相談窓口（裏表紙）へご相談ください。

■保証期間等について

この製品の保証期間は機器の試運転引き渡し完了日から 1 年です。
保証期間内に万一故障した場合は保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理いたします。
ただし保証期間内でも、改造したり、使用ミスによるものは保証対象外とさせていただきます。
詳細は保証書をご覧ください。

お知らせ

■耐塩害の室外ユニットを使用した場合でも、腐食に対して万全ではありません。
機械の設置・メンテナンスについては、お買上げの販売店にご相談ください。

お願い

■設計標準使用期間について

ガスヒートポンプエアコン室外ユニット、自立ボックス・自立ユニットを設置後、13 年または運転時間が 3 万時間を超えてご使用になる場合、使用のしかたによっては重大な事故につながるおそれがあります。必ず、お買上げの販売店または当社お客様ご相談窓口にご相談ください。なお、室外ユニット設置日は室外ユニットに貼られています、「施工（点検）時注意事項」ラベルに記載されていますのでお確かめください。

■フロン類の使用の合理化および管理の適正化に関する法律について（フロン排出抑制法）

フロン排出抑制法に基づき、お客様には機器の点検、フロン類の漏えいを発見した場合の早期修理、機器の点検や修理・フロン類の充填や回収などの記録、規定量以上のフロン類を漏えいした場合の国への報告等の義務があります。
詳細につきましては、お買い上げの販売店または、当社お客様ご相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

フロン排出抑制法に関しては、当社 HP でもご覧いただけます。

http://www.aisin.com/jp/product/energy/ghp/environ/legal/index.html

フロンについて



フロン排出抑制法　第一種特定製品

1）フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
2）この製品を移設・修理・廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
3）フロン類の数量は室外ユニットの銘板に記載されています。
4）フロン類の種類および地球温暖化係数は以下の通りです。

種類	冷媒番号	地球温暖化係数
HFC	R410A	2090

この表示は室内・室外ユニットに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

知っておいてください

■快適にお使いいただくために、1 年以上運転されていない場合は点検をおすすめします。
お買い上げの販売店にご相談ください。

製品の仕様

名称 （シリーズ）		ガスヒートポンプエアコン （F２シリーズ）		
室外ユニット代表機種名		ABGP560F2ND/PD		
室外ユニット容量		560 形		
形式		B560F2		
ガス種		N：都市ガス (13A)　P：LP ガス (い号プロパン)		
運転モード		通常モード	自立モード（空調あり）	自立モード（空調なし）★５
定格電圧 (V)・相数		200・三相 (単相)	-	-
定格周波数 (Hz)		50/60	-	-
定格能力（kW）★１	冷房標準	56.0	(45.0) ★３	-
	暖房標準	63.0	(50.0) ★３	-
定格ガス消費量（kW）★１〈〉内数値は発電なし仕様	冷房標準	48.6　〈46.4〉	(52.8) ★３	(34.5) ★３
	暖房標準	46.1　〈44.5〉	(53.0) ★３	(34.5) ★３
定格消費電力（kW）★１〈〉内数値は発電なし仕様	冷房標準	0.148〈1.06〉	-	-
	暖房標準	0.161〈0.810〉	-	-
運転音	音響ﾊﾟﾜｰﾚﾍﾞﾙ（dB）★２	80	(81) ★３	(80) ★３
製造業者名		株式会社アイシン		

＜ﾊｲﾊﾟﾜｰ (自立発電) のみ＞

運転モード		通常モード	自立モード（空調あり）	自立モード（空調なし）★５
発電機電力　(kW)		-	MAX 4.5	
発電出力	供給電力 (kVA)	-	MAX 2.0	MAX 3.0
	電圧 (V)	-	単相 200	
	周波数 (Hz)	-	50/60 ★４	
製造業者名		株式会社アイシン		

★１　JIS B 8627：2015 条件にて当社測定基準により運転した値です。
★２　JIS B 8627：2015 規格に準拠した音響パワーレベルの値です。
★３　自立モードの冷房、暖房能力及び燃料消費量は目安であり、JIS-B8627 条件で測定した値ではありません。
★４　通常運転時に電源の周波数を検出して、電源の周波数に合わせて切り替ります。
★５　自立ユニットを組み合わせて使用する場合は、自立モード（空調なし）運転はできません。

お客様ご相談窓口

定期点検・修理などのご依頼、部品に関するご相談はこちらへ。

最初に 186 をダイヤルしていただくと電話番号が当社の電話に通知され、
折り返しの連絡等がスムーズに行えます。

コールセンター
年中無休

TEL 0566-63-5741
FAX 0566-24-8117
FAX 0566-24-9807（部品専用）

株式会社 アイシン
〒448-8650　愛知県刈谷市朝日町2-1